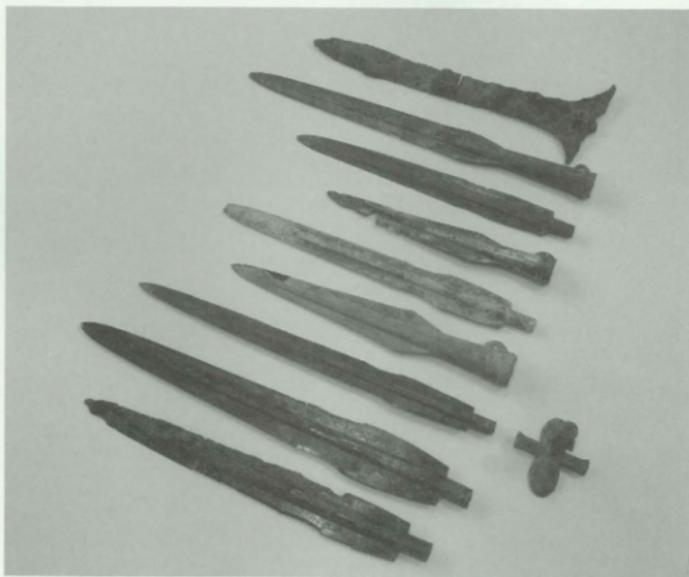


平成22(2010)年度

福岡市埋蔵文化財センター年報

第30号



2012

福岡市教育委員会

序

アジアの玄関口である福岡市は、古来から対外交渉の門戸として栄えてきました。このことを物語るように、市内には数多くの遺跡が残されています。

埋蔵文化財センターでは、これら発掘調査で出土した遺物や記録類を体系的に収藏管理し、多くの市民に活用して頂くために、昭和57年2月に開館しました。以来、二度にわたって増改築を行い、収蔵庫・展示室・研修室・保存処理室などの充実に努めてまいりました。

展示におきましては常設展示のほかに講座に合わせた企画展示や速報コーナーを設けて新しい情報発信に努めています。また、エントランスのブチ展示と称したコーナーでは講座に合わせた遺物展示のほか遊び心をもった展示を心がけ、新しい企画を試みていこうと考えています。

また、平成17年度から小・中学校を中心に、ふるさとを誇りに思う心を育てる教育の一環として、出前授業を始め、平成22年度では46校に出かけて行きました。そこでは各校区で実施された遺跡調査の成果をパネルを用いて説明したり、出土遺物を教室に持ち込み児童や生徒に触れさせて古代の人々の生活を体験できるようにしました。さらに、夏休みの「夏休み楽しい考古学」では、児童を対象にした体験学習を企画、実施し好評を得ました。今後、積極的に機会を得て外へ出かけ、多くの市民の皆様が歴史を体験できるように努めていきたいと思います。

末尾になりましたが、今後なお一層、当センターをご利用されることをお願い申し上げますとともに、関係各位のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年3月17日

福岡市教育委員会

教育長 酒井 龍彦

目 次

I.	平成22(2010)年度の活動	1
1.	資料の収藏・整理	1
2.	教育・普及	7
3.	保存処理	17
4.	入館者数	29
5.	平成22年度当初予算	29
II.	埋蔵文化財センターの概要	30
1.	組織と職員	30
2.	施設	30
付1	福岡市埋蔵文化財センター条例等	32
付2	平成22年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書・年報一覧	34

例 言

1. 本書は平成22年度(2010年4月1日～2011年3月31日)の福岡市埋蔵文化財センターの業務年報である。
2. 本書の作成は、池崎譲二、坂口茂、山崎龍雄、田上勇一郎、星野恵美、上角智希、力武卓治が担当し、編集は山崎・力武が行った。

※表紙写真は、岸田遺跡第1次調査出土の青銅器と鉄器

I 平成22(2010)年度の活動

1. 資料の収蔵・整理

(1) 収蔵方針

昭和44(1969)年、教育委員会に文化課が発足して以来、市内における緊急調査や史跡整備に伴う確認調査などで得られた出土品および写真・図面等の記録類は膨大な数量に及んでいる。これら考古資料の保存と活用をはかり、市民文化の向上に資するために、昭和57(1982)年、福岡市埋蔵文化財センター(以下、センターと呼ぶ)が設立された。

現在、福岡市の文化財行政は教育委員会文化財部(組織はII-1章参照)で行っている。センターは報告書が刊行された考古資料を発掘事業担当課から受入れて収蔵し、管理することを事業の柱の一つとしている(発掘事業は行っていない)。

発掘調査で得られた考古資料は、速やかに一般公開され、広く市民や研究者に活用される事が望ましい。このため文化財部では発掘調査、整理、収蔵の一連の作業が統一性をもって円滑に遂行され、考古資料の多用で迅速な活用をはかるため、昭和60(1985)年に「埋蔵文化財資料の収蔵整理要項」(『福岡市埋蔵文化財センター年報』第5号1985所収)を策定した。この要項はその後実情にあわせ細部を改変したものとの、策定後から要項に沿った発掘調査、整理作業が実施され、センターへの考古資料の収蔵も円滑なものとなっており、また収蔵された考古資料の活用も年々増加している(I-3章参照)。

(2) 平成22年度の本収蔵

センターに本収蔵されている考古資料は、発掘事業担当課が報告書刊行後要項に沿った整理作業を行い、搬入・収蔵したもの(埋文課と表記)と、要項策定以前に発掘調査が行われて収蔵されていた資料を、センターで要項に沿って整理

したうえ収蔵したもの(センターと表記)とに区分される。

平成22年度までにセンターに本収蔵されたのは1,710遺跡(追加収蔵まで含めた収蔵数は1,793件)で、その内訳は登録遺物1,107,555点、壺棺1,512個、コンテナ107,323箱、ネガフィルム349,138点、スライドフィルム462,748点、図面類167,321枚、写真カード194,449枚となっている(表1)。平成22年度までの市内での発掘調査は2,271件であり、全体の約75%が本収蔵され、検索が可能となった。

平成22年度の本収蔵は、埋文課から搬入・収蔵されたもの72遺跡、センターで収蔵したもの27遺跡のあわせて99遺跡(新規収蔵83遺跡、追加収蔵16遺跡)と寄贈1件である。主な収蔵品は遺物がコンテナ6,107箱と壺棺2個(コンテナ換算する場合は壺棺1個を12箱とする)、写真類が22,158点、図面類が6,563点、写真カードが4,096枚である(表2)。

出土品のうち土器・石器は一般収蔵庫に、金属器・木製品・玉類は特別収蔵庫に収納している。また写真類は第1記録類収蔵庫、図面類は第2記録類収蔵庫、写真カードは第1資料整理室へ納めた。

(3) 収蔵台帳のデータベース化

民間に業務委託して、現在までにセンターに収蔵されている登録遺物約110万点の手書き台帳をデータベース化する事業である。予算削減のなか10割の補助金を受けることができる県の緊急雇用創出事業の交付金を適用した。平成21年度から平成23年度までの3年の継続事業とし、現在までに作成した手書き台帳を全てデータベース化する予定である。

目的

- 登録件数が約110万件に及ぶ収蔵遺物の内容や収蔵場所等の検索が効率的に行えるようすること。
- 現在までの手書き台帳の永久的なバックアップデータとすること。
- 市民向けの企画展示、博物館等への貸し出し、市民公開講座資料、インターネットでの公開などに用いるデータベースを作成する。

履行期間

平成22年9月15日から平成23年3月18日

委託業務内容

- 470,000件のデータ入力。なお、平成21年度から23年度の委託で総件数約110万件を入力する予定である。
- 平成21年度入力データ105,000件との統合とデータ入力システムの作成

費用

緊急雇用創出事業の交付金を適用。10割補助金。

作業方法

データ入力作業は10人平均の新規雇用者によって行われた。作業はエクセルに入力した後にアクセスに変換した。

(4) 埋蔵文化財報告書のデジタル化業務委託

目的

- 本市が刊行した発掘調査報告書をデジタルデータ化することで、電子データによる報告書の保存用データ、及び、将来的に市民に広く公開活用を図るため閲覧用データを作成する。

履行期間

平成23年2月2日から平成23年3月25日

委託業務内容

- 報告書802冊のデジタルデータ作成、既存のデジタル化された報告書264冊のPDFデータを、閲覧用解像度へ変換する。
- 保存用と閲覧用を作成。

・保存用：解像度600dpi以上

保存形式：非圧縮・TIFF形式

・閲覧用：PDFファイルに変換。

解像度300dpi以上

保存形式：圧縮

費用

緊急雇用創出事業の交付金を適用。10割補助金。

作業方法

データ入力作業は7人平均の新規雇用者を行った。報告書の背を裁断し、裁断した報告書をスキャニングしデータ化し、作業が終了した報告書は旧状に復元した。

(5) 収蔵棚の増設

発掘調査によって増え続ける遺物の収蔵、管理も大きな課題の一つである。年間、コンテナ箱4,000～6,000箱が当センターへ搬入されるが、その収蔵・管理のための場所の確保と収蔵棚の設置は予算削減のなか、苦慮しているところである。平成22年度は増築棟3階収蔵庫への新規棚設置はなかったが、平成23年度に新規棚を設置する予定。

(6) 資料のデータベース化の取り組み

近年のデジタル化の進歩に伴い、下記のような資料や台帳のデジタル化を進め、活用や保存を図っている。詳細は該当年度の年報に掲載している。

- スライド写真のデジタル化（平成12年～18年・23年度）
- 収蔵遺物のデータベース化（平成21年度～23年度）
- 収蔵遺物写真の検索システムの構築（平成20年度）
- 収蔵遺物のデジタル写真撮影（平成19、20年度）
- 埋蔵文化財報告書のデジタル化業務委託（平成22年度）

表1-1 本収蔵数一覧(1986~2010年度)

年度	収蔵区分	新規追加蔵数	登録遺物点数	遺物		ネガフィルム				ポジフィルム				図面	写真カード
				露根数	コンテナ数	35mm(本)	6×7(コマ)	4×5(枚)	35mm(コマ)	6×7(コマ)	4×5(枚)	遺構	遺物		
1986	埋文課	4	0	3,639	0	749	57	1,397	7	1,358	163	0	352	239	781
	センター	14	0	4,475	0	309	343	1,844	169	3,736	386	96	617	512	1,564
	年度合計	18	0	8,114	0	1,058	400	3,241	176	5,094	549	96	969	751	2,345
1987	埋文課	12	0	5,860	3	779	284	4,051	8	2,931	373	0	994	1,223	2,744
	センター	9	0	2,631	1	217	229	2,327	80	3,121	254	2	427	290	1,630
	年度合計	21	0	11,491	4	996	513	6,378	88	6,052	627	2	1,421	1,513	4,374
1988	埋文課	38	1	15,193	61	1,152	560	8,566	10	6,694	647	0	1,784	1,789	5,074
	センター	5	0	11,301	72	740	331	4,342	137	4,848	13	0	888	1,141	2,994
	年度合計	43	1	26,494	133	1,892	891	12,908	147	11,542	660	0	2,672	2,930	8,068
1989	埋文課	11	0	16,380	6	1,121	231	7,507	99	4,634	966	63	1,612	1,619	2,343
	センター	3	0	6,701	0	868	155	3,559	92	2,906	0	0	105	418	2,090
	年度合計	14	0	23,081	6	1,989	386	11,066	191	7,540	966	63	1,717	2,037	4,433
1990	埋文課	60	0	43,807	29	2,214	1,460	17,561	712	19,235	2,405	76	3,173	3,277	9,563
	センター	30	0	11,096	3	766	311	3,073	0	4,714	496	8	723	955	1,924
	年度合計	90	0	54,903	32	2,980	1,771	20,634	712	23,949	2,901	84	3,896	4,232	11,487
1991	埋文課	57	0	32,480	32	3,028	599	10,974	45	9,051	1,095	67	2,435	2,552	6,075
	センター	6	0	4,586	65	724	395	3,303	86	3,541	811	45	666	865	1,856
	年度合計	63	0	37,066	97	3,752	994	14,277	131	12,592	1,906	112	3,101	3,417	7,931
1992	埋文課	74	4	33,934	78	3,449	760	12,820	12	12,490	1,618	25	3,505	3,092	6,972
	センター	13	2	8,046	30	1,287	284	3,006	19	3,141	176	8	558	985	1,950
	年度合計	87	6	41,980	108	4,736	1,044	15,826	31	15,631	1,794	33	4,063	4,077	8,922
1993	埋文課	52	0	28,850	26	4,355	711	21,093	38	12,410	2,949	17	2,858	2,811	11,587
	センター	6	0	6,034	7	1,118	237	22	463	2,123	0	25	308	156	654
	年度合計	58	0	34,884	33	5,473	948	21,115	501	14,533	2,949	43	3,166	2,967	12,241
1994	埋文課	40	1	17,817	118	1,570	472	8,556	0	7,680	1,751	4	1,936	2,068	4,797
	センター	9	0	7,285	3	984	151	1,026	125	2,619	68	11	560	427	985
	年度合計	49	1	25,102	121	2,554	623	9,582	125	10,299	1,819	15	2,496	2,495	5,782
1995	埋文課	57	1	40,565	37	4,229	675	12,851	257	10,564	3,035	238	2,519	3,354	7,581
	センター	13	0	5,854	9	1,128	182	2,973	6	3,099	270	0	448	450	1,526
	年度合計	70	1	46,419	46	5,357	857	15,824	263	13,663	3,305	238	2,967	3,804	9,107
1996	埋文課	66	0	32,101	148	3,454	764	12,136	0	14,364	4,429	10	3,239	3,256	7,629
	センター	12	0	5,015	82	565	245	2,529	618	3,331	284	0	520	1,035	1,725
	年度合計	78	0	37,116	230	4,019	1,009	14,665	618	17,695	4,713	10	3,759	4,291	9,354
1997	埋文課	84	1	58,346	56	7,942	1,063	18,594	23	17,119	7,240	44	4,424	3,848	10,889
	センター	8	0	5,088	0	740	134	2,293	355	2,217	391	0	291	616	1,112
	年度合計	92	1	63,434	56	8,682	1,197	20,887	378	19,336	7,631	44	4,715	4,464	12,001
1998	埋文課	109	2	54,107	79	5,509	1,193	18,783	1,008	22,461	7,209	84	5,207	4,779	11,675
	センター	3	0	1,279	1	368	44	704	0	991	82	0	87	88	455
	年度合計	112	2	55,386	80	5,875	1,237	19,487	1,008	23,452	7,291	84	5,294	4,867	12,130

註) 1998年度はセンターの増築・改造のため本収蔵は行わなかった。

数の単位は遺物(箱)、コンテナ(箱)、ネガフィルム35mm(本)、その他の写真(コマ)、4×5枚(枚)、図面、写真カード(枚)

表1-2 本収蔵数一覧(1986~2010年度)

年度	収蔵区分	新規登録数	追加登録数	登録遺物点数	遺物		ネガフィルム			ポジフィルム			図面		写真カード
					裏相数	コンテナ数	35mm(本)	6×7(コマ)	4×5(枚)	35mm(コマ)	6×7(コマ)	4×5(枚)	遺構	遺物	
2000	埋文譜	75	5	47,069	71	5,798	1,361	20,717	75	26,016	8,431	84	6,069	5,896	12,968
	センター	11	0	3,851	0	535	51	419	69	790	157	0	897	299	337
	年度合計	86	5	50,920	71	6,333	1,412	21,136	144	26,806	8,588	84	6,966	6,195	13,305
2001	埋文譜	44	1	30,512	34	4,785	669	8,157	121	10,229	3,011	7	2,263	2,930	5,061
	センター	9	8	6,502	9	841	356	3,277	65	4,281	11	0	1,065	1,039	2,192
	年度合計	53	9	37,014	43	5,626	1,025	11,434	186	14,510	3,022	7	3,328	3,969	7,253
2002	埋文譜	50	6	47,781	112	5,229	689	10,503	0	13,496	4,956	13	2,356	3,195	6,274
	センター	10	0	2,595	2	268	130	489	215	2,107	0	0	203	261	690
	年度合計	60	6	50,376	114	5,497	819	10,992	215	15,603	4,956	13	2,559	3,455	6,964
2003	埋文譜	82	3	61,651	66	7,356	755	15,498	685	14,786	6,002	483	3,844	4,435	8,124
	センター	8	0	2,178	16	165	96	2,598	0	1,980	52	0	247	289	1,322
	年度合計	90	3	63,829	82	7,521	851	18,096	665	16,766	6,054	483	3,891	4,725	9,646
2004	埋文譜	48	2	41,675	37	2,702	711	8,607	181	13,700	3,106	247	2,709	2,642	5,469
	センター	13	0	2,068	14	178	420	2,383	354	2,733	11	0	439	183	1,251
	年度合計	61	2	43,743	51	2,880	1,131	10,990	535	16,433	3,117	247	3,148	2,825	6,720
2005	埋文譜	70	2	59,235	16	4,276	620	10,065	277	13,796	4,936	133	2,924	3,422	7,092
	センター	24	0	4,208	5	537	385	458	11	4,410	20	6	380	481	859
	年度合計	94	2	63,443	21	4,813	1,005	10,523	288	18,206	4,956	139	3,304	3,903	7,951
2006	埋文譜	64	2	44,692	45	4,006	743	10,171	8	15,269	4,936	63	2,965	3,419	6,906
	センター	27	2	3,885	6	632	212	325	359	2,456	0	0	906	545	805
	年度合計	91	4	48,577	51	4,638	955	10,496	367	17,725	4,936	63	3,871	3,964	7,711
2007	埋文譜	94	7	66,886	10	5,634	1,089	17,247	0	17,808	8,902	16	5,889	3,220	10,426
	センター	10	6	8,285	59	940	140	879	17	1,970	315	0	333	280	828
	年度合計	104	13	75,171	69	6,574	1,229	18,126	17	19,778	9,217	16	6,222	3,500	11,254
2008	埋文譜	85	4	32,750	27	2,746	489	7,555	8	10,272	2,343	107	2,327	2,876	4,433
	センター	16	3	1,682	0	318	114	361	0	1,694	119	0	172	130	375
	年度合計	101	7	34,432	27	3,064	603	7,916	8	11,876	2,462	107	2,499	3,006	4,808
2009	埋文譜	74	2	111,030	32	3,880	656	9,041	65	15,158	4,796	58	2,330	4,451	6,355
	センター	18	2	6,002	5	1,028	32	303	20	683	105	48	116	449	211
	年度合計	92	4	117,032	37	4,908	688	9,344	85	15,841	4,901	106	2,446	4,900	6,566
2010	埋文譜	69	3	55,695	2	5,901	604	4,270	0	1,824	11,369	0	2,773	3,428	3,433
	センター	14	13	1,859	206	37	836	0	239	2,709	276	171	191	663	
	年度合計	83	16	57,554	2	6,107	641	5,106	0	2,063	14,078	276	2,944	3,619	4,096
計	埋文譜	1,419	47	985,055	1,123	91,864	17,215	276,720	3,619	293,345	96,668	1,839	70,287	73,822	164,251
	センター	281	36	122,500	389	15,459	5,014	43,329	3,241	63,640	6,730	526	11,127	12,085	30,198
	年度合計	1,710	83	1,107,555	1,512	107,323	22,323	320,049	6,860	356,985	103,398	2,365	81,414	85,907	194,449

註1 1998年度はセンターの増築・改修のため本収蔵は行なわなかった。

該の単位は遺物収蔵(個)、コンテナ(箱)、ネガフィルム35mm(本)、その他の写真(コマ)、4×5は枚)、図面、写真カード(枚)

表2-1 2010年度本収蔵一覧

46項 収蔵 区分	蔵書 番号	書名	本文	報告書 提出	所蔵地 点数	通帳	トカラフリ	ボジフィルム	14面	写真 写	取扱日	送付 部	渡済担当者
							書籍類	複数類	シナリオ	25mm×35mm	6×7(37)	4×5×50	35mm×37mm
20101 理文洋 0812 博多沖跡群 182 1087 527 26 4 47 23 50 7 40 32 4/12(月) 1 植松有大													
201002 理文洋 0923 名島城跡 1 1084 2													
201003 理文洋 0433 名島城跡 2 938-1084 65 9 4 159 26 19 10 75 4/12(月) 1 梶原宏行													
201004 理文洋 0506 名島城跡 3 938-1084 146 22 4 21 122 130 25 52 84 4/12(月) 1 長谷宏行													
201005 理文洋 0633 名島城跡 4 1084 121 24 3 94 78 24 24 41 50 4/12(月) 1 岩佐宏行													
201006 理文洋 0910 福岡城跡 43 695-733-783 1,204 1,181													
201007 理文洋 8202 磯崎古墳 1 730 964 121													
201008 理文洋 0340 大隅・隼原 通路群 35 909 189 1 14 15 288 346 129 36 28 45 160 4/12(月) 1 齋藤正人													
201009 理文洋 0834 石垣島跡群 230 1068 945 12 6 30 140 18 19 31 5/12(月) 1 齋藤正人													
201010 センター 8533 福岡城跡 8 131 153 6													
201011 センター 8607 貝原山遺跡 47 154 21													
201012 センター 7405 筑後川・古賀山遺跡 1 10024 78 4													
201013 理文洋 0556 熊川岸木原 10 976 4,781 279 10 16 161 131 153 26 6/1(日) 1 中村裕太朗													
201014 理文洋 7320 猿島古墳群 2 1104 155 18 1 222 50 47 148 6/1(日) 1 加村道博													
201015 理文洋 0410 宮崎・鹿児島 通路群 40 1064 2 9 40 5 6/1(日) 1 斎藤尚紀													
201016 理文洋 0435 大隅・知覧 通路群 41 1064 223 20 10 40 185 20 6 12 52 44 6/1(日) 1 斎藤尚紀													
201017 理文洋 0518 佐世造跡群 115 1097 755 32 22 338 338 256 47 86 193 6/1(日) 1 木暮 和													
201018 理文洋 0845 高原・芦原 通路群 12 1074 591 63 7 115 95 82 26 101 69 6/1(日) 1 木暮 和													
201019 理文洋 0814 肴屋造跡群 228 1067 158 5 1 10 36 10 6 7 6/1(日) 1 木暮幹彦													
201020 理文洋 0816 有田造跡群 229 1067 7 1 1 4 14 4 2 1 3 6/1(日) 1 木暮幹彦													
201021 理文洋 0819 コノリ造跡群 6 1075 406 11 1 10 36 10 21 17 7 6/1(日) 1 在寺幹彦													
201022 理文洋 0850 西ノ佐治跡 1 年報Vol.23 31 1 1 8 28 8 6 3 6 6/1(日) 1 在寺幹彦													
201023 理文洋 8749 有田造跡群 132 1067 319 8 4 45 63 13 8 36 6/1(日) 1 山崎健雄													
201024 理文洋 8804 台田造跡群 137 1067 932 76 8 172 138 28 121 108 6/1(日) 1 山崎健雄													
201025 理文洋 0804 胥芥大通路 2 1085 57 1 4 33 82 12 32 2 54 6/1(日) 1 山崎健雄													
201026 理文洋 0822 佐世造跡群 116 1098 149 6 3 52 58 14 10 37 6/1(日) 1 山崎健雄													
201027 理文洋 0830 久穴原 トカラ道跡 3 1,079 46 1 3 17 52 8 1 14 6/1(日) 1 山崎健雄													
201028 理文洋 0838 田村造跡 23 1080 288 1 11 28 215 12 60 6 126 6/1(日) 1 山崎健雄													
201029 理文洋 0859 井尻B通路 33 年報Vol.23 31 1 2 25 20 6 1 14 6/1(日) 1 山崎健雄													
201030 理文洋 0242 元岡・急須 通路群 31 1103 2,073 646 40 457 1,007 518 38 301 476 410 6/20(日) 1 上島智希													
201031 理文洋 0562 宮原・麻原 通路群 47 1064 14 1 8 14 94 14 23 2 23 6/30(日) 1 上島智希													
201032 理文洋 0228 五十川通路 10 1019 427 11 3 34 69 34 29 21 23 6/30(日) 1 上島智希													
201033 理文洋 0823 山原通路 5 1076 154 6 2 77 44 8 10 10 43 7/6(日) 1 加藤良典													
201034 理文洋 0846 五十川通路 17 年報Vol.23 31 1 1 14 18 6 0 9 7/6(日) 1 加藤良典													
201035 理文洋 0804 志比島跡群 114 1096 658 31 6 182 271 11 23 61 103 7/8(日) 1 加藤良典													
201036 理文洋 0753 有田造跡群 227 年報Vol.22 7 1 1 14 15 14 5 0 8 7/8(日) 1 今井健博													
201037 理文洋 0811 福岡通路 61 1092 665 25 2 48 46 18 16 40 28 7/8(日) 1 今井健博													
201038 理文洋 0824 基塙通路 8 1100 66 2 1 18 23 10 13 3 11 7/8(日) 1 今井健博													
201039 理文洋 0836 原通路 24 年報Vol.23 18 1 14 12 14 3 2 7 7/8(日) 1 今井健博													
201040 理文洋 0843 西宮古瀬跡 4 1077 614 15 4 125 82 68 53 30 74 7/8(日) 1 今井健博													
201041 理文洋 0747 田村通路 22 1080 53 2 2 39 40 38 23 9 35 7/8(日) 1 岡澤泰之													
201042 理文洋 0764 四箇上田通路 3 1077 155 2 3 53 54 24 33 13 30 7/8(日) 1 岡澤泰之													
201043 理文洋 0242 元岡・志原 通路群 31 1103 14 31 258 31 6/30(日) 1 二宮忠司													
201044 理文洋 0670 博多灘跡群 171 1041 1,668 118 9 19 145 80 67 42 97 7/10(日) 1 星由洋													
201045 理文洋 0826 篠崎通路 63 1094 1,079 47 82 62 80 62 24 67 46 7/20(日) 1 稲本義則													
201046 理文洋 0732 名島城跡 5 1084 64 5 7 66 86 40 9 8 36 7/20(日) 1 稲本義則													
201047 理文洋 0808 名島城跡 6 1084 271 59													
201048 理文洋 0655 9個五郎山 通路群 12 1066 1,212 4 20 40 40 36 431 60 7/21(日) 1 加藤謙也													
201049 理文洋 0737 佐世A通路 4 1072 8,433 192 70 519 2,453 488 174 376 217 403 8/3(日) 1 清石哲也													
201050 理文洋 0748 佐世A通路 5 1072 80 3 3 27 35 4 1 6 8/3(日) 1 宮井吉朗													
201051 センター 0144 清江造跡 (1,555) 5 874 3 27 35 4 17 8/5(日) 1 宮井吉朗													

表2-2 2010年度本収蔵一覧

収蔵区分	測量番号	測量名	次級	報告書 (冊)	測量期 点数	測量範囲 (2ノマト 35m×6m)	本ガフィルム 枚	ボンファイルム 枚	照面 枚	写真 カード	収蔵日	整理 枚	測量担当者			
201052 センター	0144	唐津(道跡)	5	863		7	219	286	100		121	8月5日	1 鈴木雅雄			
201053 センター	8309	有田道跡群	81	129	15	7						8月11日	1 佐藤智也			
201054 センター	8647	名島1号線	2	1902		8	117		49		77	8月20日	1 渡邉謙二			
201055 萩文課	キ0007	京丹波町道		6	1							8月10日	1 鮎上正尚氏			
201056 センター	8435	那多道跡群	10	193				241				8月20日	1 渡邉謙二			
201057 センター	7701	久留米道跡	1	91							127	9月3日	1 方武季治			
201058 センター	GR04	柏原道跡	2	8	123	9				56	9月11日	1 棚谷嘉介				
201059 センター	7725	那多道跡群	1a	105-126		100		313	86		59	10月12日	1 斎尾・遠崎			
201060 センター	7807	山鹿道跡群	1	1078	946	68	6	219	333	47	54	10月13日	1 方武季治			
201061 球文課	0627	那珂道跡群	114	1082	3,684	383	27	108	875			10月14日	1 古屋学			
201062 センター	5201	北熊道跡群	2	94	7		5			23	1	10月15日	1 有吉良郎			
201063 球文課	9547	大隅E道跡	5	511	33	1	1	8	8		5	10月20日	1 中村信太郎			
201064 センター	8225	鹿児島道跡	16	98	71	25			66		15	11月2日	1 国中寺夫			
201065 センター	8038	馬歩道跡群	16	105	1					4		11月13日	1 岩尾學			
201066 センター	7103	佐渡古道	1	21	7							11月18日	1 三島・唐田			
201067 球文課	0842	皆多道跡群	187	1091	751	39	7	78	41	70	19	58	11月18日	1 山岸洋		
201068 センター	8620	吉塚道跡	1	202	31							11月18日	1 村山豊雄			
201069 球文課	0705	神多道跡群	172	1066	6,989	1,225	23	14	707	146	195	11月26日	1 渡邉謙二			
201070 センター	8840	福岡道跡	12	293	179	10	100			13	55	12月10日	1 須川一男			
201071 センター	7831	有田道跡群	17	58	1		1	10		2		12月18日	1 井沢喜一			
201072 センター	8403	伊原尾尾危跡	1	189-201-217						6		12月22日	1 朝日・日中政			
201073 センター	8968	田ヶ崎古墳群	2	241						4		12月22日	1 荒牧弘行			
201074 センター	7514	鹿本木ヤ元	1							7		12月24日	1 植尾学			
201075 センター	7100	金武古墳群	5	68						14		1月4日	1 鮎井・麻山			
201076 センター	9141	飯村道跡	63	410	64	24	2	28	79	7	8	1月5日	1 方武季治			
201077 センター	9330	板村道跡	65	410	45	18	2		48	3	4	1月15日	1 方武季治			
201078 センター	9331	板村道跡	66	410	106	34	3	26	96	5	9	2月15日	1 方武季治			
201079 球文課	0714	片瀬道跡群	175	1065	7,541	787	68	39	1,569	28	22	251	369	1月27日	1 中田寿夫	
201080 球文課	0523	元町・赤坂	44	1064	540	1	57	6	32	120	35	51	27	1月27日	1 木下博文	
201081 球文課	0815	博多道跡群	183	1088	619	86	1		28		3	11	3	1月27日	1 木下博文	
201082 球文課	0820	博多道跡群	184	1089	213	41	2				5	5	3	1月27日	1 木下博文	
201083 球文課	0835	丸町C道跡	14	年報Vol.23	8	1	1	10		10	1	10	7	1月27日	1 木下博文	
201084 球文課	0841	ヒタチシ道跡	1	1099	50	1	1	10		10	16	2	7	1月27日	1 木下博文	
201085 球文課	0848	有田道跡群	231	1067	12	1	1				4		1月27日	1 木下博文		
201086 センター	8329	多々良・筑前海岸	6	121					313		25		16	2月19日	1 田崎利男	
201087 球文課	0414	那珂道跡群	97	1082	27	7	8		140		64	15	43	3月17日	1 具家律	
201088 球文課	0445	蒲原間道跡	16	1115	55	3	2		34		8	13	3	3月17日	1 具家律	
201089 球文課	0555	北浦道跡群	89	1130	56	7	3	5	24		5	11	21	3月17日	1 具家律	
201090 球文課	0661	北浦道跡群	118	1130	111	12	3	8	50		9	27	32	3月17日	1 具家律	
201091 球文課	0144	浦江道跡	5	886	645	4					11	20	3	3月18日	1 吉田秀美	
201092 球文課	0144	浦江道跡	5	874	450	29					115	75		3月18日	1 吉田秀美	
201093 球文課	0144	浦江道跡	5	792	466	8					30	29		3月18日	1 吉田秀美	
201094 球文課	0118	船崎道跡	28	1127	55	2	2		18		4	3	3	3月11日	1 具家律	
201095 球文課	0236	船崎道跡	33	1127	281	10	3	27	49	23	18	9	20	3月11日	1 具家律	
201096 球文課	0918	麻町道跡	26	1119	144	6	1	10	33	10	12	15	7	3月24日	1 森本泰彦	
201097 球文課	0726	大津道跡	14	1111	1,060	51	13	176	459	168	117	89	118	3月24日	1 鈴木雅雄	
201098 球文課	0769	大津道跡	15	1111	292	10	4	79	146	70	76	15	43	3月24日	1 鈴木雅雄	
201099 球文課	0915	五十川道跡	16	1113	633	18	7				21	25	14	3月24日	1 田崎奈緒子	
201100 球文課	1006	那珂道跡群	127	1121	130	5	4				21	14	7	3月24日	1 田崎奈緒子	
				57,504	2	6,107	641	5,106	0	13,187	2,948	276	2,944	3,619	4,096	100
				12,972	6,131	67,652	5,747	57,652	16,411	16,882	6,563					通算合計

2. 教育・普及

(1) 教育活動

1) 出前授業

福岡市の教育方針では、「学ぶことに興味を持ち、未知のものを知る感動を味わい、自由な発想をもって様々なことを構想するなど、知的探求心を高めることや郷土福岡を誇りとする気持ちを育むこと」が重視されている。

このため平成17年度から当センターでは、上記の趣旨を生かし、併せて義務教育学校における

郷土の歴史学習の充実と拡大を図るために具体的な施策として、依頼のあった学校へ当センターの職員（考古学専門職）を派遣し、出土品に直接触れて歴史を身近に感じると共に古代の生活体験を通して歴史認識を深めることを授業の骨格とする出前授業要項を策定、決定して本格的に事業を開始した。

【平成22年度授業プログラム】

No.	授業名	時間	単位	構成	授業概要
1	大昔の暮らし① 「火起こし」	45分	学級	班	道具を用いて2種類の火起こしを体験。 火が生活に与えた影響と発火技術の変遷を学習。
2	大昔の暮らし② 「祈りとまじない」	90分	学級	班	勾玉を製作体験。 祈りの品を用いて昔の人々の生活と想いを学習。
3	大昔の暮らし③ 「縄文時代と弥生時代」	45分	学級	班	縄文時代と弥生時代の生活の違いを出土品に触れ、班員が討議して理解する。
4	大陸とのまじわり① 「卑弥呼と鏡」	70分	学級	班	金属製（低温度溶解金属）の鏡を鋳造製作体験。 金属加工等の外來技術をとおして大陸とのつながりを学習。
5	大陸とのまじわり② 「服装」	45分	学級	班	糸作りや古墳時代・飛鳥時代の衣装を着る体験。 着物の変遷をとおして大陸とのつながりを学習。
6	大陸とのまじわり③ 「シルクロードと鴻臚館」	45分	学級	班	木簡を製作体験。鴻臚館跡の出土品に触れ、奈良時代の役人の生活や古代におけるアジアとのつながりを学習。
7	職業体験 「ジュニア学芸員」	45分	学級	班	模型を用いた土器の復元作業や拓本作業を体験。将来の就業に向けた動機付けとして、学芸員業務の一端を学習。



「校区の歴史」授業風景



「火起こし」授業風景



「祈りとまじない」授業風景



「服装」授業風景

【平成22年度出前授業実施状況】

授業実施日	学校名	受講生徒数	授業プログラム	授業回数
1 4月14日(水)	城南小学校	127	大昔のくらし①「火起こし」	4
2 4月16日(金)	北嶺小学校	19	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	1
3 4月16日(金)	弥生小学校	57	大昔のくらし①「火起こし」	2
4 4月22日(木)	喜松小学校	66	大昔のくらし②「祈りとまじない」	2
5 4月22日(木)	鳥飼小学校	104	大昔のくらし①「火起こし」	3
6 4月23日(金)	高宮小学校	60	大昔のくらし①「火起こし」	2
7 4月27日(火)	花畠小学校	97	大昔のくらし①「火起こし」	3
8 4月28日(水)	三筑小学校	132	大昔のくらし③「縊文時代と弥生時代」	4
9 5月 6日(木)	今宿小学校	109	大昔のくらし①「火起こし」	3
10 5月 7日(金)	小田部小学校	124	大昔のくらし①「火起こし」	4
11 5月11日(火)	吉塚小学校	39	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	1
12 5月12日(水)	住吉小学校	17	大陸との交わり③「シリクロードと鴻臚館」	1
13 5月19日(水)	弥永小学校	60	大昔のくらし①「火起こし」	2
14 5月20日(木)	片江小学校	100	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	3
15 5月25日(火)	赤坂小学校	49	大陸との交わり③「シリクロードと鴻臚館」	2
16 5月27日(木)	今津小学校	22	大昔のくらし①「火起こし」	1
17 6月 2日(水)	那珂南小学校	79	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
18 6月 3日(木)	姪北小学校	103	大昔のくらし①「火起こし」	3
19 6月 9日(水)	西陵小学校	57	大昔のくらし②「祈りとまじない」	2
20 6月10日(木)	三古小学校	121	大昔のくらし①「火起こし」	4
21 6月15日(火)	姪浜小学校	129	大陸との交わり③「シリクロードと鴻臚館」	4
22 6月16日(水)	大池小学校	85	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	3
23 6月22日(火)	高木小学校	70	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
24 6月25日(金)	野多目小学校	117	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	3
25 6月30日(水)	南片江小学校	97	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	3
26 7月 1日(木)	和白小学校	121	研究授業「塩づくり」	4
27 7月 7日(水)	若久小学校	96	大昔のくらし②「祈りとまじない」	3
28 7月 8日(木)	名島小学校	153	大昔のくらし①「火起こし」	4
29 7月13日(火)	百道浜小学校	100	大陸との交わり③「シリクロードと鴻臚館」	3
30 7月14日(水)	東光中学校	54	大昔のくらし③「縊文時代と弥生時代」	2
31 9月 3日(金)	弥永西小学校	90	大昔のくらし①「火起こし」	3
32 9月 7日(火)	城浜小学校	38	大昔のくらし②「祈りとまじない」	1
33 9月 8日(水)	当仁小学校	93	大陸との交わり③「シリクロードと鴻臚館」	3
34 9月14日(火)	西高宮小学校	78	大昔のくらし②「祈りとまじない」	2
9月15日(水)	西高宮小学校	78	大昔のくらし②「祈りとまじない」	2
35 9月22日(金)	名大名小学校	14	大陸との交わり③「シリクロードと鴻臚館」	1
36 9月29日(火)	長丘小学校	98	大陸との交わり②「服装」	3
9月30日(水)	長丘小学校	65	大陸との交わり②「服装」	2
37 10月13日(水)	板付中学校	104	大昔のくらし①「火起こし」	3
10月14日(木)	板付中学校	68	大昔のくらし①「火起こし」	2
38 10月20日(水)	西戸崎小学校	53	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
39 10月26日(火)	小笛小学校	105	大昔のくらし①「火起こし」	2
10月27日(水)	小笛小学校	70	大昔のくらし①「火起こし」	3
40 11月 4日(木)	多々良中央中学校	110	大昔のくらし③「縊文時代と弥生時代」	3
11月 5日(金)	多々良中央中学校	73	大昔のくらし③「縊文時代と弥生時代」	2
41 11月 9日(火)	金武小学校	79	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
42 11月18日(木)	美野島小学校	72	職業体験「ジュニア学芸員」	2
43 11月25日(木)	玉川小学校	62	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
11月26日(金)	玉川小学校	64	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
44 11月30日(火)	南当仁小学校	121	職業体験「ジュニア学芸員」	4
45 1月26日(水)	今津特別支援小学校部	4	大陸との交わり②「服装」	1
46 1月26日(水)	今津特別支援中学部	6	大陸との交わり②「服装」	2

2) 職場体験（インターンシップ）

本センターでは、中学生に将来の職業や進路に対する関心や理解を深めてもらうことを目的として、センター業務を体験する職場体験を受

け入れている。実習内容は、保存処理作業、資料収蔵作業、出前授業教材準備などである。

実習生学校名	実習期間	人 数
那珂中学校	平成22年7月6日～7月8日	2名
東光中学校	平成22年9月14日～9月16日	1名
平尾中学校	平成22年9月14日～9月15日	3名
三筑中学校	平成22年9月15日	1名
多々良中学校	平成22年9月15日～9月16日	3名
当仁中学校	平成22年9月29日	1名
住吉中学校	平成22年10月13日～10月15日	1名
適応指導教室「すまいる」	平成22年10月21日	4名
東福岡特別支援学校	平成22年11月9日～11月12日	1名



展示室清掃作業



木器保存水槽蓋清掃作業



木器保存処理作業

3) 体験学習

児童生徒たちが、実際の出土遺物に触れたり、古代の人々の暮らしや技術を追体験したりして、歴史認識を深めることを目的とした。また、X線や顕微鏡などの機器を用い、出土した

遺物の分析や保存処理をどのように行っているかの実験も行った。

夏休み期間中に「夏休み 楽しい考古学」計3回、春休みに「探検埋文センター」1回を実施した。

開催日	概要	受講者数
第1回 平成22年7月24日(土) 13:30～16:30	オリエンテーション・センター内の見学を行う。 装身具の歴史について学び、王冠と勾玉を作る。	26名
第2回 平成22年7月31日(土) 13:30～16:30	鏡の歴史を学び、鋳造作業を行う。 遺物から情報を得る一つの手段としての拓本作業を学ぶ。	26名
第3回 平成22年8月21日(土) 13:30～16:30	火が人間の生活にどのような影響を与えたかを学び、火起こしを体験する。石包丁を作り、実際に石器を刈り、土器で米を炊く。	41名
第4回 平成23年3月26日(土) 13:30～16:30	展示室や収蔵庫の探検をし、不思議を探す。 機器を用い、遺物の分析や保存処理を見学し、体験する。	17名



王冠つくり



夏休み 楽しい考古学



探検 埋文文化財センター

4) 博物館実習

毎年、市内外の大学からの博物館学芸員(補)資格取得を目的とした博物館実習の依頼に博物館相当施設である本センターは応じている。2010年度も実習生を受け入れて下記のように実施した。

本センターの実習における特徴として、博多駅地下通路に設置されている2箇所の展示施設(Fギャラリー)を実際に用いることがある。実

習生は二つのグループに分かれ、職員の助言を受け、グループごとに展示計画を立案、検討して、作業を進めていく。実習の最終日前日には、前年度の実習生が展示した作品を撤去した後に、実習生が展示を行う。展示された作品は、今後一年間、地下通路を通る人たちの目を楽しませるものとなった。

		概要
実習期間	平成22年8月17日(火)～8月28日(土)	
実習内容	オリエンテーション、施設見学、資料収蔵管理実習、教育普及実習、遺物保存処理実習、図書資料管理実習、展示実習、講座受講、実習反省会	
実習生	12名 (西南学院大学国際文化学科、同大学社会福祉学科、福岡大学人文学部歴史学科、筑紫光学園大学日本語・日本文学科、九州産業大学地域文化学科、福岡女子短期大学文化コミュニケーション学科、福岡教育大学中等教育教員養成課程)	

実習内容	
8月17日(火)	オリエンテーション 施設の概要 文化財行政と埋蔵文化財センターの役割について
8月18日(水)	教育普及活動について 遺物の収蔵管理について 展示計画I
8月19日(木)	遺物の保存と活用I
8月20日(金)	遺物の保存と活用II 体験学習「夏休み楽しい考古学」準備
8月21日(土)	展示計画II 体験学習「夏休み楽しい考古学」実習
8月24日(火)	企画展示撤収実習 展示計画III
8月25日(水)	展示計画IV
8月26日(木)	展示計画V
8月27日(金)	展示準備 「Fギャラリー」展示作業
8月28日(土)	実習反省会

(2) 普及活動

1) 展示

①常設展示

当センターでは「埋蔵文化財の保存・保護」と本市の都市像のひとつである「海と歴史を抱いた文化都市」に則した「弥生以来の海外交易の拠点都市」を展示の主テーマとしている。

第1展示室では、埋蔵文化財の発掘調査から遺物・記録類が収蔵、管理・活用されるまでの一連の流れと、木器・金属器等の科学的保存処理の成果を「埋蔵文化財とは何か」、「埋蔵文化財の保存処理」、「埋蔵文化財の修復」、「発掘現場での保存科学的作業」、「埋蔵文化財の収蔵管理と活用」、「埋蔵文化財と考古学」、「旧石器・縄文時代の福岡」の項目で展示している。



実習生展示①「なんではかたって言うと?」



実習生展示②「茶闇の移り変わり」

第2展示室では、江戸時代に鎮国されるまで日本の玄関口であり続けた本市の特徴をとりあげ、最も脚光を浴びた「奴国の時代」の弥生時代と国内最大の国際貿易港であった「中世都市博多」の時代に焦点をあて、それぞれ「奴国の拠点集落那珂・比恵遺跡」、「奴国以前」、「大型建物」、「環濠・大溝・条溝」、「墳丘墓」、「争う」、「交流と交易」、「祭る」、「装う」、「まかなう」、「つくる」と「日本の玄関・博多」、「鴻臚館の時代」、「匠」、「海外との交易」、「国内の交易」、「中世博多の情景」、「たしなむ・あそぶ」、「戦乱」の項目でテーマ展示を行っている。



第1展示室



第2展示室

第3展示室は、部門展示室として短期展示を行っており、考古学講座に合わせた企画展、発

掘調査速報展・特別展などを実施している。平成22年度は下表のとおり6回の展示を実施した。

【第3展示室展覧会開催一覧】

種別	名 称	期 間
企 画 展	「都市への胎動」前期展	平成22年 5月15日～平成22年 8月22日
	「都市への胎動」後期展	平成22年11月 2日～平成23年 4月 3日
特 別 展	「甦る出土遺物展」－平成21年度保存処理成果－	平成22年 8月28日～平成22年10月24日
速 報 展	「老司瓦窯跡」展	平成22年 5月20日～平成22年10月15日
	「元岡遺跡G-1号墳」展	平成22年 7月 4日～平成22年 7月21日
	「岸田遺跡」展	平成22年10月15日～平成22年10月31日



「都市への胎動」後期展



「甦る出土遺物」展



「岸田遺跡」速報展

②館外展示

本センターでは、出土品の活用の一環として、地域学校等の身近なところで出土品と接する機会を積極的に設け、市民の文化財保護に対する理解が自然と深まるよう努めている。

A ま～るごと博物館

市役所・区役所庁内の各フロアーや地下鉄駅構内に市内遺跡出土品を展示して市民や内外の来訪者が容易に本市の歴史と接する機会を設けたもの。将来的には各建物全体に展示テーマに即した資料を配置して、施設を一巡することで歴史を感じられるようにするものである。

【設置場所】

教育委員会教育長室・総務部長室／
地下鉄藤崎駅／博多駅地下通路



四箇田公民館

B オラガマチ博物館

公民館や小学校に小型展示ケースを設置して遺跡から出土した考古資料を展示するもの。特に展示品は各校区内の遺跡から出土したものに限ることにより、生徒や利用者が校区の歴史と容易に接することを可能とした。さらに入人々が歴史を身近に感じることにより、ふるさとを誇りに思える環境のひとつを提供するものである。

【設置場所】

三苦小学校／名島小学校／東箱崎小学校／馬出小学校／板付北小学校／野多日小学校／賀茂小学校／城原小学校／西戸崎小学校／四箇田公民館／横浜地区自治会館



城原小学校

C 出前博物館

地域商店街や自治会、さらには市内で開かれる各種フェスタ・学会等の主催者と連携して福岡市の歴史理解を深めてもらうことを目的とし、依頼に基づいたテーマに沿った地域短期型の展示会を開催するもの。本センターが企画から展示まで担当し、依頼者はテーマと展示会場の確保だけを担うものである。

【開催者】高取商店街



板付北小学校



高取商店街



グランドホームサンケア和白

2) 公開講座

①考古学講座

平成22年度の考古学講座は「都市への胎動」をテーマとした。時代や社会の変化に応じ、様々な機能をもった「都市」が形成され、これらの都市の成立過程や消長を探ることによってダイナミックに変貌を遂げてきたわが国と福岡の歴史をあらためて確認していくものである。最新の研究結果をもとに歴史研究においての第一人者を招き、8回の講座を開催した。

②考古学講座〈市域編〉

考古学講座に関連し、各時代の本市域の状況をより詳しく最新の発掘成果や文献資料を用いて本市職員が紹介する講座として6回開催した。

③速報講座

当センターにおける平成21年度の出土遺物の保存処理成果の紹介と平成22年度における市内の発掘調査の報告を2回開催した。

【考古学講座一覧】

種別	開催日	講演題目	講師	受講者数
第1回	平成22年 5月15日(土)	織文都市の息吹 ～世界遺産登録をめざす三内丸山遺跡から～	青森県教育庁 岡田 康博氏	169名
第2回	平成22年 6月 1日(土)	倭國の都市	大阪府立弥生文化博物館長 金圓 恵氏	182名
第3回	平成22年 7月17日(土)	倭の五王から那津宮家	元西南学院大学教授 長 洋一氏	218名
第4回	平成22年 9月18日(土)	古代西日本の都市 大宰府	東京大学大学院教授 佐藤 信氏	167名
第5回	平成22年11月20日(土)	中世国際貿易都市 博多	山口県立大学准教授 伊藤 幸司氏	135名
第6回	平成23年 1月22日(土)	近世封建都市「福岡」の誕生	九州大学名誉教授 丸山 雅成氏	124名

【考古学講座(市域編)一覧】

種別	開催日	講演題目	講師	受講者数
第1回	平成22年 6月26日(土)	弥生時代三都物語～奴国と伊都国の都市～	福岡市教育委員会 久住 猛雄	124名
第2回	平成22年 8月 7日(土)	那津宮家とその時代	福岡市教育委員会 菅波 正人	134名
第3回	平成22年10月 9日(土)	新発見！鴻臚館	福岡市教育委員会 吉武 学	84名
第4回	平成22年10月30日(土)	大宰府への長い道程 ～福岡平野の古代官道と方形地割～	福岡市教育委員会 吉留 秀敏	115名
第5回	平成22年12月11日(土)	中世都市「はかた」 ～発掘調査からみた最新の成果～	福岡市博物館 本田 浩二郎	108名
第6回	平成23年 2月19日(土)	近代都市「福岡」の形成	福岡市博物館 烏集 京一	78名

【速報講座一覧】

種別	開催日	講演題目	講師	受講者数
第1回	平成22年 8月28日(土)	見る出土遺物 ～平成21年度保存処理成果から～	福岡市教育委員会 保存処理担当	66名
第2回	平成23年 3月12日(土)	発掘調査総まくり ～平成22年度市域内調査から～	福岡市教育委員会 宮井 善朗	56名



『考古学講座. 1』



『考古学講座. 2』



『考古学講座. 3』



『考古学講座. 4』



『考古学講座. 5』



『考古学講座. 6』

3) 資料利用

市民・小中学校・各種博物館・大学などの研究機関・出版社・報道関係などの利用希望に対して、考古資料や記録資料を提供している。資料利用は館内利用と館外利用（貸出）とに分か

れる。貸出件数はほぼ例年通りであるが、閲覧件数は昨年度より80件も増加した。貸出期間が1年以上のものは長期貸出、未満のものは短期貸出として区分している。

【館内利用】

利用種類	件数	点数
考古資料	248	19,784
写真・記録類	5	35
図書	322	2,735
計	575	22,554

【館外利用】

貸出種類	件数	点数		
		考古資料	写真他	合計
長期貸出	42	2,240	17	2,257
短期貸出	126	3,396	856	4,252
計	168	5,636	873	6,509

4) 施設の利用

利用日	利用者	利用内容	人數	利用施設	利用日	利用者	利用内容	人數	利用施設
平成22年4月 9日(金)	福岡金属遺物談話会	研究会	10名	研修室	平成22年 9月25日(土)	NPO法人環境未来塾	準備会	16名	会議室
平成22年4月25日(日)	東アジア考古学会	研究会	9名	研修室	平成22年 9月25日(土)	鹿児島国際大学	研究会	10名	研修室
平成22年6月13日(日)	東アジア考古学会	研究会	10名	研修室	平成22年 9月26日(日)	鹿児島国際大学	研究会	7名	研修室
平成22年7月31日(日)	東アジア考古学会	研究会	12名	研修室	平成22年10月31日(日)	東アジア考古学会	研究会	15名	研修室
平成22年8月22日(日)	埋蔵文化財研究集会	研究会	10名	研修室	平成22年11月13日(土)	博多研究会	研究会	60名	研修室
平成22年9月 4日(土)	埋蔵文化財研究集会	研究会	80名	研修室	平成22年11月14日(日)	博多研究会	研究会	60名	研修室
平成22年9月 5日(日)	埋蔵文化財研究集会	研究会	45名	研修室	平成22年10月31日(日)	東アジア考古学会	研究会	15名	研修室
平成22年9月10日(金)	福岡金属遺物談話会	研究会	20名	研修室					

5) 図書の収蔵と閲覧

①平成22年度図書受入状況 計2,807冊 (一般2,540・雑誌267)

内訳: 購入159冊 (一般13・雑誌146) 受贈2,648冊 (一般2,527・雑誌121)

②平成22年度廃棄蔵書数 201冊

③平成22年度末蔵書数 71,013冊 (購入9,396・受贈61,617)

6) 団体見学

見学日	団体名	人數	見学日	団体名	人數
平成22年4月13日(火)	福岡市立三筑小学校	136名	平成22年8月 4日(水)	福岡市博物館実習生	17名
平成22年4月16日(金)	福岡市立城南小学校	127名	平成22年8月11日(水)	慶州青少年修練館	15名
平成22年4月16日(金)	福岡市立那珂小学校	160名	平成22年8月11日(水)	佐賀女子短期大学	8名
平成22年4月20日(火)	韓国国立光州博物館	4名	平成22年8月22日(日)	國學院大學	4名
平成22年4月21日(水)	麻浦トラベルソウル支社	5名	平成22年8月31日(火)	九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所	3名
平成22年4月21日(水)	諸岡サンチラス	12名	平成22年9月 3日(金)	韓国嶺南大学	4名
平成22年4月26日(火)	韓国国立伽倻文化財研究所	6名	平成22年9月 7日(火)	美和台歩こう会	72名
平成22年4月28日(木)	福岡市立玉川小学校	130名	平成22年9月10日(水)	心和の家デイサービス西月隈	7名
平成22年4月30日(金)	福岡市立板付小学校	13名	平成22年9月30日(木)	福岡市立板付小学校	8名
平成22年5月 7日(金)	デイサービス花うさぎ	16名	平成22年9月30日(木)	東アジア古代文化を考える会	14名
平成22年5月12日(木)	埋蔵文化財サポートシステム	8名	平成22年10月 1日(金)	筑紫野市歴史博物館	11名
平成22年5月14日(金)	デイサービス花うさぎ	15名	平成22年10月 3日(日)	菊池市商工会	143名
平成22年5月19日(水)	山口県周南市立岐山小学校	102名	平成22年10月16日(金)	グリーンコープ	9名
平成22年5月20日(木)	山口県周南市立遠石小学校	89名	平成22年10月28日(木)	グリーンコープ	7名
平成22年5月20日(木)	デイサービスつるのさと	8名	平成22年11月24日(木)	東区殷設見学会	24名
平成22年5月21日(金)	山口県周南市立和田小学校	22名	平成22年11月25日(木)	福岡市立西花魁小学校	120名
平成22年6月10日(木)	福岡市立名島小学校	157名	平成22年12月 1日(木)	大阪府立弥生文化博物館	51名
平成22年6月12日(土)	福岡大学考古学研究室	38名	平成22年12月 7日(火)	パナソニック松久会	49名
平成22年6月16日(水)	福岡市立柏原小学校	95名	平成22年12月 9日(木)	福岡市立七隈小学校	81名
平成22年6月22日(火)	福岡市立板付小学校	14名	平成22年12月10日(金)	ユネスコモンゴル考古学研究所	5名
平成22年6月22日(火)	福岡市美和市民公館	5名	平成23年1月 8日(土)	九州産業大学芸術学部美術学科	17名
平成22年6月27日(日)	福岡市立下山門中学校	4名	平成23年2月 3日(木)	東京都立晴海総合高等学校	24名
平成22年6月29日(火)	太宰府市	6名	平成23年2月26日(土)	社会福祉法人静第二いわお園	25名
平成22年 7月3日(土)	東京占斗会	20名	平成23年3月 4日(金)	SBS学苑	20名
平成22年7月13日(火)	柳川市立有明小学校・畠垣小学校	29名	平成23年3月 5日(土)	地域発見歴史講座(予約)	13名
平成22年7月30日(金)	法音寺	16名	平成23年3月22日(火)	三筑一丁目老人クラブ・和会	17名

7) 刊行物

- 『福岡市埋蔵文化財センター一年報』 第29号 平成21(2009)年度 A4版44ページ2011年3月16日発行。文化財関係機関・図書館などに配布。
- 『見学のしおり』(展示案内パンフレット) B4版3つ折り6ページ。入館者に無料配布。
- 『マイコレ!』(児童向け収蔵品紹介) 変形A4版3つ折り6ページ。児童に無料配布。
- 『2011年度講座案内』(チラシ) A4版2ページ。文化財関係機関・図書館などや入館者に無料配布。

平成22(2010)年度資料貸出等一覧

件数	区分	申請者	資料名	点数			貸出日 (撮影日)	備考	
				演物	写真	他			
1	A	福岡市博物館学芸課	城ノ原遺跡出土植物ほか	1206	1206		20100401	常設展示	
2	A	国立厚生省民俗博物館	標本・有田・筑紫路出土土壤物	25	25		20100401	常設展示	
3	A	大阪府立弥生文化博物館	今山・櫛原出土植物ほか	24	24		20100401	常設展示	
4	A	広島県立歴史博物館	博多溝跡群出土植物標器	6	6		20100401	常設展示	
5	A	徳島市歴史民俗資料館	豊浦遺跡出土56種標本	2	2		20100401	常設展示	
6	A	新宮市教育委員会	石丸古・別所・佐々木遺跡出土植物	3	3		20100401	町立歴史資料館内常設展示	
7	A	リコーカクシステムズ㈱㈲支社	比寒遺跡群25次発掘	3	3		20100401	ロビー・常設展示	
8	A	グランホーミングカンパニー	鹿屋遺跡出土土器・馬具台	6	4	10	20100401	ロビー・常設展示	
9	A	鶴見町立総合委員会	戸原東遺跡出土土八花桃・陶器器	44	44		20100401	町立歴史資料館内常設展示	
10	A	奈良市立総合委員会	博多溝跡群出土人骨・陶器器ほか	150	150		20100401	令和津社前・大阪内常設展示	
11	A	東京国立博物館	浦崎能登山出土器物	23	23		20100401	平成殿跡出土品常設展示	
12	A	市立高砂小学校	跡町遺跡出土土器・石器	36	36		20100401	校内常設展示	
13	A	市立馬場小学校	船崎遺跡出土土器	6	6		20100401	校内常設展示	
14	A-B-C	市立・立石小学校	三笠遺跡出土土器・石器・ケース	69	3	2	74	20100401	校内常設展示
15	A	市立野川小学校	野川遺跡出土土器	46	46		20100401	校内常設展示	
16	A	市立名島小学校	瀬戸・池の中原遺跡出土植物ほか	28	28		20100401	校内常設展示	
17	A	市立吉塙小学校	瑞穂・板付遺跡出土植物	7	7		20100401	校内常設展示	
18	A	市立城山小学校	猿八町・下ノ瀬遺跡出土植物	25	25		20100401	校内常設展示	
19	A	市立松山小学校	板付遺跡出土土器	9	9		20100401	校内常設展示	
20	A	市立西原小学校	御用中遺跡出土・新装書籍ほか・展示台	15	15	7	22	20100401	校内常設展示
21	A	鶴見区立郷土歴史課	博多溝跡出土土器・陶器前段ほか	43	43		20100401	まちかどひらひろば「えみギャラリー」展示	
22	A	福岡市立糸島	唐崎遺跡3次出土土器	5	5		20100401	勝山駅常設展示	
23	A	福岡市文化整備課(福岡歴史部)	波除遺跡出土土器など	132	132		20100401	波除常設展示	
24	A	福岡市立時代史料課(令和津展示室)	戸原東遺跡出土土器	61	61		20100401	波除常設展示	
25	A	福岡市文化財保護課(野方遺跡展示室)	野方遺跡出土土器	42	42		20100401	波除内常設展示	
26	A	福岡市文化財保護課(野村寺跡)	野村寺遺跡出土土器	71	71		20100401	波除常設展示	
27	A	歌麿美術歴史資料館	御用中遺跡出土5号埴輪	2	2		20100401	波除常設展示	
28	A	神戸市立教育委員会	市立山遺跡出土土器	9	9		20100401	ヒューリック内常設展示	
29	A	弓削町立公民館	野方遺跡出土土器・白磁ほか	7	7		20100401	エントランス・常設展示	
30	A	市立市立考古博物館	新町遺跡出土12号土器	2	2		20100401	如意館常設展示	
31	A	今宿横堀地区みよみづくいの会	今里遺跡出土土石・石器	18	18		20100401	如意館常設展示	
32	A-C	市立西原小学校	唐崎遺跡2次出土40号埴輪ほか	2	1		3	20100401	如意館常設展示
33	A	東北歴史博物館	有田遺跡出土2次土器・土器	1	1		20100401	如意館常設展示	
34	A	西南学院大学	羽根戸川C遺跡出土土器	20	20		20100401	海津洋次資料収蔵	
35	A	福岡市立郷土歴史課	福・永徳遺跡出土土器ほか	10	10		20100401	玲雲館伝習資料館	
36	A	福岡市立四郎田公民館	草薙田遺跡出土土器・十字型石器ほか	8	8		20100401	四郎田常設展示	
37	A	福岡市立貴志川公民会館(憩すやま)	唐崎遺跡出土青瓦・瓦	1	1		20100401	憩すやま内常設展示	
38	A	福岡市立警察署(福岡郵便局)	タエノン・波除跡出土高麗瓦セット	2	2		20100401	憩すやま内常設展示	
39	A	大隈城跡・土手塚	古式高麗瓦・波除跡出土青瓦	4	4		20100401	憩すやま内常設展示	
40	A	九州歴史博物館	鹿屋遺跡出土土器	55	55		20100401	憩すやま内常設展示	
41	A	兵庫陶芸美術館	博多溝跡出土陶器	15	15		20100401	憩すやま内常設展示	
42	A	独立行政法人国際医療研究機構	家富遺跡出土土器	3	3		20100401	宝塚城内地内実務事務室に常設展示	
43	C	立井研究所	しちことば・博多・福岡(ビデオ)	1	1		20100406	続く見学へ向けての小学校	
44	B	福岡市立文化財部	野川中遺跡・金武鉢遺跡ほか	8	8		20100407	金武鉢月イドマッパン作成	
45	D	株式会社 アルバ	古式武縄遺跡出土の鍔付・鍔柄ほか	2	2		—	新日本百科『ダブルディスク』刊行	
46	A-B	福岡市立文化財修復課	波除跡出土上土標本面ほか	18	16		34	20100413	宍戸人跡もうち「波除」の波除跡其那岐遺跡
47	B	国立厚生省民俗博物館	博多溝跡出土土器・青瓦ほか	4	4		4	20100414	「解説」160号・半蔵と波除の文部・経済の文政
48	A	福岡市立博物館学芸課	今山・瀬戸・浜原遺跡出土土器	125	125		20100415	別所原示元・土器の時代	
49	A-B	大坂山立共生文化博物館	森原祭り出土土器・貝製陶器	1	1		2	20100426	平成22年度春・季刊特別展示及び祝賀囲碁
50	B	大坂山立共生文化博物館	森原祭り出土土器・貝製陶器	1	1		20100414	平成22年度夏・季刊特別展示・テレシカシカ	
51	A	文化庁	川端遺跡出土土器	70	70		20100511	平成22年度・発掘された日本列島2010	
52	A-B	福岡市立博物館学芸課	東久池遺跡5号・7号・8号土器ほか	40	10		50	20100420	福岡別原川・狂歌の歴史の裡
53	E	(有)分野	船尾遺跡出土土器	20	5		25	20100525	「デジタル書籍」『ハイクオリティアーチ
54	D	(有)分野	船尾遺跡出土土器	20	5		25	—	『デジタル書籍』『ハイクオリティアーチ
55	B	福岡市立考古博物館	サンクトアント	5	5		20100506	日本ブリック『エニシヨウタイム』刊行	
56	B-C	株式会社 ジャパン交通遺跡センター	福岡市立考古文化財センター・展示状況ほか	1	1		2	20100501	博・集・祭・集・祭・発掘された日本列島2010』
57	D	九州大学大学院比較文化社会学研究所	元山・奈良原山出土土器	34	34		20100428	九州・奈良原山出土土器・馬鹿山作成	
58	A	九州大学大学院比較文化社会学研究所	元山・奈良原山出土土器	9	9		20100509	九州大学開学記念日・展示	
59	E	環境省美術館	博多溝跡出土青瓦・茶碗	62	62		20100513	秋葉原演劇場・南北の古跡・撮影	
60	A-D	東京藝術大学	博多溝跡出土土器・青瓦・茶碗	62	62		20100521	秋葉原演劇場・南北の古跡	
61	B	株式会社 湘南社	博多溝跡出土土器・茶碗・白磁	3	3		20100519	「日本めぐらの古跡」	
62	D	東京立正大学	波除跡出土土器・青瓦・茶碗	1	1		—	波除跡出土アート選手権・黒崎の絆の家と金銭	
63	D	(財)日本文化力文化振興財団	博多溝跡出土土器・白土器	1	1		—	平成22年春・季刊特別企画・五つの功と美	
64	B	九州国際大学	博多溝跡出土土器・土器	2	2		20100603	文化行政海外研修・五つの功と美	
65	B	株式会社 小学館	博多溝跡出土土器・青瓦	1	1		20100612	『ja. 日本の歴史』第3巻・「武者・世の墓園」	
66	A	九州国際大学	波除跡出土土器・白磁	29	79		20100701	文化・交流・美術・心の海・アーティスト	
67	B	福岡市立博物館市史編纂室	志賀島・異界の島	1	1		20100623	新経・新都市・市材・竹材	
68	D	株式会社 利和オフィス	御用中跡の次耕造遺物	1	1		—	「ラーニング・ピックアップ」特集	
69	D	西日本立派会議会議員連携会議室	御用中跡理文化センター外観	1	1		20100706	緑色自動車運転所でかけマップ	
70	A-B	東北歴史博物館	湖畠跡出土土器	88	19		107	20100810	特別展・多賀城・大平城と古代の村
71	B	山形県立歴史女子短期大学	博多溝跡出土土器・土手型	1	1		20100829	The Art Museum Tohoku『ミラージュHILL』	
72	B	株式会社 スタイルカフェ・ドット・ネット	上ノ原溝跡出土土器	1	1		1	20100721	WEBサイト
73	A	県立歴史博物館	博多溝跡出土土器・土手型	5	5		20100804	研究報告の近畿及び兵庫の今型取り出版品作成	
74	A	豪商古跡会議員連携会議室	御用中跡出土高吸水率茶碗・急須・蓋ほか	32	32		20100721	高麗二三博物館	
75	A	福岡市立博物館学芸課	博多溝跡出土土器・白磁	417	417		20100729	世界開拓20周年特別展開拓・突厥と半牛多摩展	
76	A-B	文化庁	博多溝跡出土土器・白土器	2	2		4	20100715	文化・海岸・歴史(ふるさとの因のと美)
77	B	福岡市立博物館学芸課	博多溝跡出土土器	5	5		20100727	特別展・馬鹿台団体・ものぐら	
78	B	九州立国立民族学	奈良空港遺跡出土	1	1		20100721	文化文交法・奈良・アーティズム・民族・キル等	
79	D	大韓文化産業研究センター	西原町遺跡出土植物	177	177		—	日本の中の馬鹿台団体研究のため	
80	E	大韓文化産業研究センター	西原町遺跡出土植物	177	177		20100724	日本の中の馬鹿台団体研究のため	
81	B	学校法人 河内聖	波除跡出土土器・青瓦	1	1		20100805	歴史教材	
82-A-B	A-G	古野ヶ原公園管理センター	奈良空港遺跡出土土器	4	4		8	20100927	企画展・よくがる馬鹿台団体
83	D-E	高島文化研究所所長研究資料館	云間・奈良原山出土木植	2	2		20100819	和洋竹林大通りや奈良に似たうしの文化	
84-A-B	C	福岡市博物館学芸課	宮ノ前遺跡・古石古跡群出土埴輪	588	8		596	20100820	部門別展示・玉と石製品

件数	区分	申 稿 者	實 料 名	点 款			貸出日	備 考
				演物	写真	他	計	
85	B	株式会社 ピーアンドシー	古武道跡		5		5	20100806 丙日本古墳館 博物館歩道・草薙王頭企画班画
86	E	株式会社 ピーアンドシー	古武道跡群埋蔵金銀板模型		1		1	20100806 丙日本古墳館 博物館歩道・草薙王頭企画班画
87	D	大阪府立吹田文化博物館・阿倍野区博物館	博多道跡出土土塁跡人		1		1	20100810 丙福岡連携企画展示「近畿の古墳と近畿」
88	B	福岡市博物館学芸部	博多道跡出土土塁跡はか		11		11	20100810 丙福岡連携企画展示「近畿の古墳と近畿」
89	B	福岡市博物館学芸部	博多道跡出土土塁跡はか		12		12	20100810 丙福岡連携企画展示「近畿の古墳と近畿」
90	A	奈良文化研究所無黒資料室	元元・奈良道跡出土木工品1号・6号	2			2	20100929 木幡義明 所蔵に奉事うしレスの文字たち】
91	D	個人	博多道跡出土大刀		5		5	— 九州考古学研究会・古文化研究会、第85号
92	B	アサヒビル株式会社博多工場	東京寺跡古墳發掘調査		4		4	20100912 17作成
93	B	三豊市教育委員会	付合道跡出土金銀玉類		1		1	20100926 「古代の三豊」
94	B	株式会社 文化炉	吉式巖山跡・付合道跡		5		5	20100926 〔Jr.日本の歴史 第1卷 国のなれたち〕
95	A	理顕文化財研究会	御前使徒道跡出土・内別町武士壺等ほか	118			118	20100905 第9回連携企画財研集会
96	A-B	大阪府立吹田文化博物館・久留米立憲博物館	久尾台道跡出土土塁跡大刀柄ほか	13	8		21	20100921 木津郡古墳全般と福島馬頭丸 両版と近縁
97	D	愛知県陶芸資料館	付合道跡出土土壺等ほか		2		2	— 月刊豊富文化(台湾) 2010年10月号
98	B	株式会社 文化炉	博多道跡出土土塁跡鉄器		1		1	20100917 〔Jr.日本の歴史 第2卷 武士のさばく〕
99	D	櫛原孝子考古研究所	10多道跡出土土石造築遺構・瓦成品		4		4	— 「八日市跡古墳群調査報告書」
100	D	株式会社 青葉書店	吉式巖山跡3号木製副葬品		1		1	20100921 佐藤義重『古墳時代の成立』
101	D	株式会社 講談山房	10多道跡出土土石造成・瓦砾跡片ほか		1		1	20100922 「季刊考古学」119号 特集 研究者たちの新潮流
102	D	株式会社 文化炉	近縁跡		1		1	— 〔Jr.日本の歴史 第2卷 地域のくらし〕
103	A	福岡市博物館学芸課	老司古塚出土方墳子孫はか	5			5	20100928 佐野和也監修「古墳時代から平安時代まで」
104	A-B	廿木市歴史資料館	博多道跡出土大刀・十字架型鉗髪ほか	1	1		2	20101014 佐々木和也監修「古墳時代から平安時代まで」
105	B	株式会社 くわ学園	10多道跡出土土壘等垣跡		1		1	20101005 〔Jr.日本の歴史 第2卷 墓と地域のくらし〕
106	D	株式会社 校舎舎	二荒古墳出土土塁・瓦製小手鉢ほか		3		3	— 月刊考古学(11月号) 特集 研究者たちの新潮流
107	A	奥崎謙・連続文化財センター	上月隈遺跡出土瓦頭のレリーフほか		3		3	20101006 レブリック写真集「古墳はなるほど 飯田先生の道」
108	A-B	九鬼徹・歴史探訪	豊原山跡出土土塁・土壘ほか	59	17		76	20101105 両版記念特集展「大嘆祭―その榮華と絆跡―」
109	D	株式会社 フォトオリジナル	付合道跡出土石斧		1		1	— 社会科教科
110	A	福岡市文化普及会・吹田文化財館第2課	老司丘陵出土土塁・瓦製器ほか	14			14	20101021 佐野和也監修歴史記念講演会
111	D	奈良県立高畠自然観察会	野方久保跡出土土壘と把頭跡ほか		4		4	20101129 佐野和也監修「古墳時代の地形と古墳」
112	A	興善市教育委員会	比延遺跡出土土塁・瓦製加工系ほか		7		7	20100929 佐野和也監修「古墳の競い合戦の国・エリザベスー」
113	B	株式会社 出雲房出版社	付合道跡出土瓦頭		2		2	20101026 「別荘の古事記・考古・発生時代(後編)」
114	D	株式会社 古川吉弘文庫	付合道跡出土土塁・瓦頭状況		4		4	— 「日本の古墳時代(後編)・通じ古墳の大抵と事実」
115	D	個人	付合道跡出土瓦頭・瓦頭		3		3	— 「古事記と豊富」(古事記)
116	B-D	株式会社 正社建	付合道跡出土石臼・瓦頭		2		2	20101014 社会科教科
117	C	朝日文庫とその体験読書委員会	石臼・瓦頭跡ほか		12		12	20101104 五方健司監修「古事記ってみやうターニング」
118	E	福岡市博物館学術研究室	付合道跡出土瓦頭		8		8	20101105 「市民からFukuhara!」(12月号)
119	D	個人	秋竹山跡出土瓦頭・瓦頭		1		1	20101109 佐野和也監修「日本人」
120	D	個人	豊崎湯跡出土瓦頭・瓦頭		4		32	— 江戸東京博物館(古事記)
121	A	元興寺文化財研究室	秋竹山跡出土瓦頭のレプリカ		1		1	20101125 黒川信重監修「古事記と古文化の研究資料写真集」
122	D	(有)ライトスタッフオフィス	比延遺跡出土土塁・瓦頭状況		1		1	— 新人俳優共作「新・やまと物語(一・二巻)」
123	B	株式会社 トライ社	付合道跡出土土塁・瓦頭		2		2	20101117 社会科教科
124	D	株式会社 神代教育出版	柳原山跡出土石臼		1		1	— 社会科教科
125	D	株式会社 IN-EKエンターブラザーズ	付合道跡出土土壘		1		1	— 「ETV特集 日本と世界平昌2010年」DVD化
126	D	株式会社 田中弘文館	付合道跡出土瓦頭		1		1	— 「日本の古事記」(後編)・通じ古墳の大抵と事実
127	B	福岡市博物館学芸部	比延遺跡出土瓦頭・瓦頭		21		21	20101124 パトリック・モルト「古事記の古事記」
128	B	福岡市博物館学芸部	付合道跡出土瓦頭		1		1	20101124 黒川信重監修「古事記と古文化の研究資料写真集」
129	D	株式会社 HIRAKAWAトーライズ	柳原山跡出土土塁・土壘ほか		1		1	— 「NEXUSトーライズ人気作家を魅了する世界」
130	A	高井田古墳研究会	柳原山跡出土土塁・土壘ほか		62		62	20101201 高井田と二重塁
131	D	個人	付合道跡出土土塁・瓦頭ほか		18		18	— 「豊田市でさとうきび栽培の替り植物」
132	D	(有)ライトスタッフオフィス	高田七田山跡出土・外生土器ほか		2		2	— 人物作家共作「新・やまと物語(一・二巻)」
133	D	株式会社 山田出版	柳原山跡出土・瓦頭		1		1	— 「日本歴史辞典」電子辞書(SHARPNEL)掲載
134	D	株式会社 山田出版	付合道跡出土瓦頭		1		1	— 社会科教科
135	A	福岡市博物館学芸部	■豊原山跡出土木製甲冑ほか	149			149	20101222 部門別展示「穢いの古事記」
136	A	熊本大学	四郎山跡出土木叉		1		1	20101111 植木利勝監修および年代測定を行なう
137	A	福岡市博物館学芸部	柳原山跡出土土塁・土壘ほか		6		6	20101120 木村アキラ監修「ふくおか発掘即席」
138	D	株式会社 HIRAKAWAトーライズ	付合道跡出土瓦頭・瓦頭		4		4	— 社会科教科
139	D	東京書店出版	付合道跡出土瓦頭真偽		1		1	— 「古事記と豊富」(古事記)
140	D	株式会社 付合道ネットワーク	付合道跡出土瓦頭		1		1	— 社会科教科
141	B	日本テレビ放送株式会社	付合道跡動画		1		1	20101201 月刊テレビ「世界一受けたい授業」
142	A	福岡市文化財部	有田道跡2次・野町A道跡2次出土石器	369			369	20101119 脇作成
143	B	地図魔術研究会	博多道跡出土土塁・瓦頭ほか		7		7	20101201 月刊「地図魔術研究会」
144	D	株式会社 くわ学園	付合道跡出土瓦頭		1		1	— 有田山城監修「豊原山の古事記・古文化の研究」
145	D	株式会社 フェニックス・ピーフォト	柳原山跡出土・瓦頭ほか		1		1	20101221 社会科教科
146	B	読売新聞東京本社	豊原山跡出土瓦頭		1		1	20101204 陸屋利嗣監修「古事記と古文化」
147	B	株式会社 出雲房出版社	老司古墳・柳原山跡の鏡穴式石室		2		2	20101204 丹波重慶監修「古事記と古文化」
148	D	有田焼セサミ・ライトスタッフオフィス	豊原山跡出土瓦頭・瓦頭		1		1	— 人物作家共作「新・やまと物語(一・二巻)」
149	D	九鬼徹・歴史探訪	大口道跡第一次挖掘		2		2	20101202 九州歴史資料館監修「示す昭和研究資料作成」
150	A	堀川市文化財部	豊原山跡瓦頭		751		751	20101210 柳原山作成
151	D	大阪府立東洋陶磁美術館	付合道跡出土土塁・瓦頭ほか		2		2	— 月刊「東洋陶磁」
152	A	神戸大学	古武道跡		65		65	20101224 分野研究会
153	D	株式会社 フォトオリジナル	宝塚道跡出土土塁・瓦頭ほか		2		2	— 社会科教科
154	D	株式会社 フォト・オリジナル	柳原山跡出土木製瓦頭		1		1	— 月刊「歴史と文化」
155	D	歴史教育協議会	柳原山跡出土瓦頭・瓦頭		1		1	— 月刊「歴史と文化」
156	B	福岡市文化財部	付合道跡出土瓦頭		3		3	20101203 井原多喜男・中央公論編「文化財の明治時代」
157	A	古賀市古墳群研究会	付合道跡出土瓦頭		60		60	20101224 木村アキラ監修「古事記と古文化」
158	B	株式会社 田中弘文館	付合道跡出土土塁		2		2	20101203 吉田吉文監修「出雲」
159	D	立川民俗博物館	付合道跡出土瓦頭		1		1	— 文部省立農業試験場「新・やまと物語(一・二巻)」
160	D	株式会社 カコ・ガーライション	付合道跡出土瓦頭		1		1	— 社会科教科
161	A-B	西区よこし文化室内・室町平野耕夷美術	付合道跡出土瓦頭	18	6		24	20101224 木村アキラ監修「古事記と古文化」
162	D	福岡市立博物館	柳原山跡出土瓦頭		31		31	— 「日韓文化比較」(古事記研究会監修)
163	B	福岡市立博物館	下月隈遺跡出土人物木製品ほか		12		12	20101204 平成23年度福岡・西海・北九州の文化
164	A-B	出席学生の森博物館	柳原山跡出土瓦頭		10		12	20101216 平成23年度福岡・西海・北九州の文化
165	B	福岡市文化財部	柳原山跡出土瓦頭		49		49	20101212 平成23年度福岡・西水町文化園・ハーベン・アート
166	A	奈良文化研究所	柳原山跡出土瓦頭		17		17	20101224 化學探査井・柳原山跡瓦頭
167	D	奈良文化研究所	柳原山跡出土瓦頭ほか		16		16	— 日本アスラス・学会論文誌(GLASS)、95号
168	A-B	福岡市博物館学芸部	柳原山跡出土瓦頭		11		11	20101230 福岡市博物館(ふくおか発見会)

※A: 遊び資出、B: 寄り資出、C: その他の資出、D: 写真・写真の桜、E: 遊び写真

3. 保存処理

(1) はじめに

当センターでは昭和57年の開館以来、市内出土埋蔵文化財のうち腐蝕や劣化により資料としての取り扱いや、通常の保管が困難なもの（主に対象となるのは木製品と金属製品）について、保存のための科学的処置を講じている。当初は直接的な処置のための限られた機器で作業を行ってきたが、平成11年度の増築により事前調査機器や大型の処理装置などが導入され、幅広い資料に対応が可能となっている。増築前後の施設の内容については、年報の第15号（増築前）、18号（増築後）をそれぞれ参照されたい。

(2) 出土木製品（有機物）

1) 処理の概要

今年度処理を行ったのは27遺跡402点で、内、1点は骨角器、その他は木製品である。木製品は柱根や礎板、建築材といった大型品を中心である。詳細は一覧表の通り。この内、今宿五郎江遺跡4次、高畠遺跡16次などの出土木器の120点は国庫補助事業によるものである。

処理法は資料の形態、材質、劣化度などを考慮し、PEG含浸法を中心に主に3つの処理法を用いている。PEG含浸法は一般的な小型・中型の木製品、糖アルコール含浸法は、PEG含浸法では処理が困難な漆器や墨書きの施された木簡類、或いは展示など活用のスケジュールに合わせて短期間での処理が必要な資料、真空凍結乾燥法はPEGを100%含浸すると、重くて取り扱いが困難な大型材や変形を期す恐れのある広葉樹芯持ち材というように、資料の種類に応じて使い分けをしている。

2) 処理工程

各処理法による作業は、資料の洗浄、処理前の写真撮影、処理カードの作成といった共通作

業以降、次のような工程で行った。

なお処理後の資料は温湿度管理された特別収蔵庫において保管している。

◆PEG含浸法（301点）

①資料の梱包…不織布で梱包し、メッシュのコンテナなどに納める。

②PEG含浸…専用の含浸装置に梱包した資料を入れ、注水、加熱（60℃）。温度が安定したら初期濃度10%より置換開始。PEGは処理槽の容量から算出した計画表に基づき、日々適量を投入し（写真W-1）、同時に水分蒸発により濃度上昇を図った。濃度は一週間に一度溶液を採取し、溶液の重量と水分蒸発後の重量比較により算出。5月後半に置換を開始し、約8ヶ月後の2月初旬に100%に至り、その後更に数週間含浸。



W-1 PEG投入作業

③取り上げ…溶液から資料を取り出した後、温水で表面を洗浄し、自然乾燥（PEGの固化）。

④脱色及び表面処理…湯煎したアルコールによる表面洗浄。

⑤処理後観察…変形、破損の有無を点検し、処理前と比較した上で処理カードに記入。

⑥修復（破損資料のみ）…エポキシ系接着剤による折損部の接合、エポキシ系接着剤にマイクロパルーンを混入した材料による、欠損の

復元。

◆真空凍結乾燥法

- ①予備凍結…資料を大型凍結乾燥機に入れ、装置を作動。約-60℃下で凍結させる。
- ②乾燥…資料内の水分が十分に凝結したら、チャンバーを真空にし昇華による乾燥を図る。
- ◆糖アルコール（ラクチトール）含浸法（99点）
①溶液の準備…容器に初期濃度約30%のラクチトール水溶液を作製。恒温乾燥機を70℃に設定し、加熱。
- ②ラクチトール含浸…資料を溶液に浸し、資料が溶液の底に沈むことでその濃度が含浸されたと判断する。蓋をずらして水分蒸発により溶液濃度の上昇を図り、資料が浮いてきたら再度蓋を閉める。70℃での限界濃度（約80%）まで含浸させる。期間は小型資料で10日～2週間。

- ③結晶化…資料を溶液から取り出し、表面を温湯で洗浄後、余分な水分をきれいに拭き取る。表面にラクチトールの粉末をまぶし、ラクチトール結晶を核として結晶化を資料内部まで進め固化させる。資料は50℃に設定した恒温乾燥機に入れるが、この際、温風が資料に直接あたらないように注意する（過乾燥の防止）。結晶化の時間は他施設での実績や経験的なもので判断している（小型資料で1週間

～10日）。

- ④洗浄…表面に固着しているラクチトールの結晶を筆や竹串で軽く除去した後、水で洗浄。
- ⑤乾燥…再び50℃の乾燥機で乾燥させる。

3) 处理木製品紹介

今年度処理を行った西区金武青木A遺跡1次調査の木器を紹介する。

◇新発見の文字史料（金武青木A遺跡1次）

金武青木A遺跡は西区大字金武、早良平野の南端部に位置する。掘立柱建物4棟以上、炭窯、鍛冶炉、池状遺構などが発見された。池状遺構からは墨書きされた須恵器や字をへらで刻んだ土師器などとともに木簡が出土した。文字史料が限られる古代では大変貴重な発見となる。今回発見された9点の木簡の中には「延歴（暦）十年」（791年）と年号が書かれたものや人名と思われるものが書かれたものが見つかっている。

その中で、「怡土城」、「志麻郡」と書かれた木簡が注目される。怡土城とは福岡市と糸島市の境、高祖山に築かれた古代山城で、国の防衛施設である。また、遺跡が立地する早良郡ではなく、「志麻郡」と書かれていたことなどから、この遺跡が国家的施設の役割を持っていたのではないかと考えられている。

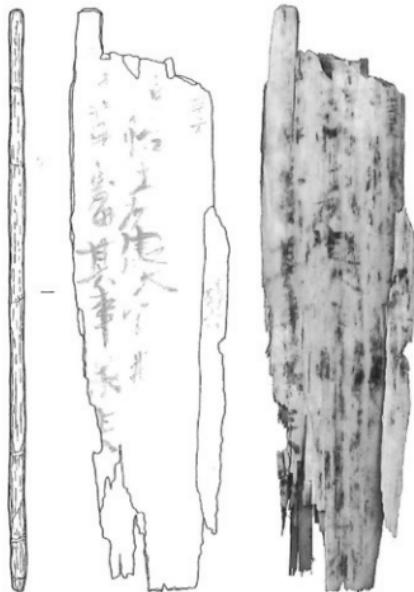
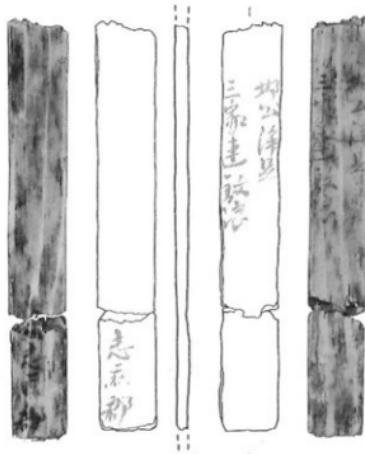
そしてこれらのことから遺跡が怡土城から日向岬を越え、大宰府へ向かう最短ルートの近くに立地している事に意味があったと想定される。

これらの木簡は糖アルコール法による処理をおこなった。



W-2 金武青木A遺跡の位置

志麻郡



□ □ 怡土城擬大領
〔解力〕
〔令力〕
〔案主力〕
□ □ □ 専當其事
□ □ □

】□別六「

（曆） [四力]
延歴十年 □

物部鷦足
矢田マ長足

0 5cm

W-3 金武青木A遺跡出土木簡 実測図と赤外線写真 (1/2)

平成22(2010)年度保存処理木製品一覧

免2次《精英商界》(期号: 886) 商报536期)

2755	市	300	又詮(アシ)	先	本	生少・一匁時代	-	-	相ノルコツル	2814	55041	井手(イハ)	木	古代・中世	-	-	PEG (Genn)
2756	市	301	又詮(アシ)	先	本	生少・一匁時代	-	-	相ノルコツル	2815	55045	井手(イハ)	木	古代・中世	-	-	PEG (Genn)
2757	市	302	又詮(アシ)	先	本	生少・一匁時代	-	-	相ノルコツル	2816	55046	井手(イハ)	木	古代・中世	-	-	PEG (Genn)
2758	市	303	桃木(タケム)	品	本	生少・一匁時代	-	-	相ノルコツル	2817	55047	井手(イハ)	木	古代・中世	-	-	PEG (Genn)
2759	市	304	作	本	生少・一匁時代	-	-	相ノルコツル	2818	55048	井手(イハ)	木	古代・中世	-	-	PEG (Genn)	
2760	市	305	透	本	生少・一匁時代	-	-	相ノルコツル	2819	55049	井手(イハ)	木	古代・中世	-	-	PEG (Genn)	
2761	市	306	羊利	本	生少・一匁時代	-	-	相ノルコツル	2820	55050	井手(イハ)	木	古代・中世	-	-	PEG (Genn)	
2762	市	307	又	木目(キヅ)	品	生少・一匁時代	-	-	相ノルコツル	2821	55051	井手(イハ)	木	古代・中世	-	-	PEG (Genn)
2763	市	308	三原	本	生少・一匁時代	-	-	相ノルコツル	2822	55052	井手(イハ)	木	古代・中世	-	-	PEG (Genn)	
2764	市	309	三原	本	生少・一匁時代	-	-	相ノルコツル	2823	55053	井手(イハ)	木	古代・中世	-	-	PEG (Genn)	
2765	市	310	源助(ヨウスuke)	本	生少・一匁時代	-	-	相ノルコツル	2824	55054	井手(イハ)	木	古代・中世	-	-	PEG (Genn)	
2766	市	311	源助(ヨウスuke)	本	生少・一匁時代	-	-	相ノルコツル	2825	55057	井手(イハ)	木	古代・中世	-	-	PEG (Genn)	
2767	市	312	源助(ヨウスuke)	本	生少・一匁時代	-	-	相ノルコツル	2826	55058	井手(イハ)	木	古代・中世	-	-	PEG (Genn)	

大蔭D6次 (圖書編目: 2001-中版Z3211)

大正6年(1917年)9月1日現在の市町村					
町名	面	段	本	古文	中世
27918 道 652 佐木	本	古文	中世	[Fig.53-524]	-
					PEG (3m)
下山町敷次(現地番号: 9956) 市端722丁					
27939 町 400 佐木	本	生空時代	[Fig.14-21]	-	PEG (3m)
10000 町 400 15		25-48.45	[Fig.14-21]	-	PEG (3m)
28222 町 3605 伊丹町	本	古代-中世		-	PEG (3m)
28223 町 3505 伊丹町	本	古代-中世		-	PEG (3m)
28224 町 3507 不明	本	古代-中世		-	PEG (3m)
28225 町 3508 不明	本	古代-中世		-	PEG (3m)

22900 機械 401
22901 機械 402

下山口乙面2次 (蜜露番号: 9966 梅雨727集) 26228 - 26002 0:00
 26229 - 26003 0:00
 26230 - 26004 0:00
 PEG (3mE)
 PEG (3mF)
 PEG (3mG)
 PEG (3mH)

27924 稽 307 木猶 木山猶

32925	308	木桶	木・中筋	Fig.53-7	28533	35101	北山川	木・古森	PEG (GmB)
32926	309	木桶	木・中筋	Fig.53-6	28534	35102	山田川	古森	PEG (GmB)
27297	310	木桶(シカの形)	木・中筋	Fig.50-64	29535	35101	日・サンゴノ	木・上田川頭一尾瀬野原	PEG (GmB)
27298	311	木桶(水呑み)	木・中筋	Fig.50-63	29536	35102	日・河	木・上田川頭一尾瀬野原	PEG (GmB)
27299	312	口仄	木・中筋	Fig.56-26	29237	35103	不明	木・白石川頭一尾瀬野原	PEG (GmB)
					29238	35004	不明	木・白石川頭一尾瀬野原	PEG (GmB)

西昌市2019-2020学年上期期末考试卷

下月開催地		次回開催地		市町村別集計		地域別集計		会員登録数	
開催月	開催地	開催月	開催地	開催月	開催地	開催月	開催地	登録会員数	登録会員数
20865	市 51080 長野県の音楽・芸術・古典文化	Fig.8-1~w4	Pl.7-1~w4	市 51080 長野県	音楽・芸術・古典文化	20240	市 50005 金沢市	4~明	久留米市
20866	市 51087 音楽の森	法・人・古代	Fig.4-1~w4	市 51087 音楽の森	法・人・古代	20241	市 50007 福井市	4~明	PEG (新規)
20868	市 51077 音楽の森	法・人・古代	Fig.4-1~w4	市 51077 音楽の森	法・人・古代	20242	市 50008 佐賀市	4~明	PEG (新規)
20878	市 50379 錦糸町	木・本・古物類・古文書	—	市 50379 錦糸町	木・本・古物類・古文書	20243	市 50009 熊本市	4~明	PEG (新規)
20859	市 50379 錦糸町	木・本・古物類・古文書	—	市 50379 錦糸町	木・本・古物類・古文書	20244	市 50110 仙台市	4~明	PEG (新規)

28160 市 53872 機械

2861	553076	透板	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)	28246	55812	柱	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)
2862	553075	透板	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)	28247	55813	柱	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)
2863	553076	透板	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)	28248	55814	柱	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)
2864	553077	透板	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)	28249	55815	南北材	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)
2865	553109	透板	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)	28250	55817	柱H	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)
2866	553110	透板	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)	28251	55818	柱H	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)
2867	553111	透板	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)	28252	55819	柱H-サンブル	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)
2868	553112	透板	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)	28253	55820	横樋(柱H)	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)
2869	553113	透板	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)	28254	55821	柱H	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)
2870	553114	透板	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)	28255	55821	柱H	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)
2871	553116	透板	木	合板(表面-裏面)一 木	Fig.5-6-w4,	-	PEG(樹脂)	28256	55825	柱H	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)
2872	553120	透板	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)	28257	55826	柱H	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)
2873	553121	透板	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)	28258	55827	柱H	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)
2874	553123	透板	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)	28259	55829	柱H	木	合板(表面-裏面)一 木	-	-	PEG(樹脂)

地點名	區分	測定No.	資料名稱	材料	時代	報告者名	報告者PL	執理方法
27954	波	9	鐵器材	木	SC前半代	Fig.9-29	-	PEG (3ml)
27955	波	30	鐵器材	木	SC前半代	Fig.9-30	-	PEG (3ml)
27956	波	31	鐵器材	木	SC前半代	Fig.9-21	-	PEG (3ml)
27957	波	87	刀(刀身)	木	7C後一半代	Fig.15-87	-	PEG (3ml)
27958	波	88	木漆器	木	7C後一半代	Fig.15-88	-	PEG (3ml)
28294	市	20028	漆器	木	古晉-古占代	-	-	PEG (3ml)

體本二丁圖6次 (調查編號：0136) 東北815

下限CS(次)		上界CS(次)		下限CS(次)		上界CS(次)	
下限	上界	下限	上界	下限	上界	下限	上界
27893	第121	121	未标注[未标注]	本	古御代-古代	Fig.27-124	Fig.27-124
27893	第20	125	未标注[未标注]	本	古御代-古代	Fig.27-125	Fig.27-125
下限CS(次)：0219 席面(0205)							
27971	第6	6005	本	山代-古-中代	Fig.13-#6	-	PEG(3mm)
27972	第6	618	碧螺	本	古御代-古-现代	Fig.23-#6	-
27973	第6	622	卡	本	古御代-古-现代	Fig.23-#6	-
27974	第6	645	四环	本	古御代-古-现代	Fig.24-#6	-
27975	第6	6640	T型	本	古御代-古-现代	Fig.24-#65	-
28004	第6	6747	本	古御代-古-现代	Fig.24-#65	-	PEG(3mm)
27977	第6	685	本	古御代-古-现代	Fig.24-#14	-	PEG(3mm)
28014	第6	694	未标注	本	古御代-古-现代	Fig.24-#14	-

關於此16次 (調查編號: 02236, 號碼208集)

23797	施	102	火候	本	成或時代地図	Fig.18-102	—	PEG (Sheet)
下段C9次 (調査番号: 0327 南海諸島22)								
28296	施	0001	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)
28297	施	0002	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)
28298	施	0003	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)
28299	施	0004	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)
28300	施	0005	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)
28301	施	0006	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)
28302	施	0007	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)
28303	施	0008	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)
28304	施	0009	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)
28305	施	0010	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)
28306	施	0011	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)
28307	施	0012	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)
28308	施	0013	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)
28309	施	0014	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)
28310	施	0015	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)
28311	施	0016	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)
28312	施	0017	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)
28313	施	0018	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)
28314	施	0019	火候	本	古の時代	—	—	PEG (Sheet)

攝影D7200 (相機編號：D409，鏡頭Nikon 50mm)

比惠100次(調査番号:0522 市報955集)

22689 65 00002 植物攝影(植物) 本 5

Z700	市	00003	苗生代時代其 ノ	苗生時代其 ノ	Fig.11-3	Ph.9	被ルフルコル
Z701	市	00004	苗生時代其 ノ	苗生時代其 ノ	Fig.11-1	Ph.7	被ルフルコル
2702	市	00005	苗生木製品	苗古	—	—	被ルフルコル
2703	市	00006	苗生木製品	苗生時代其 ノ	—	—	被ルフルコル
2704	市	00007	苗生木製品	苗生時代其 ノ	—	—	被ルフルコル
2705	市	00008	苗生木製品	苗生時代其 ノ	—	—	被ルフルコル
2706	市	00009	苗生木製品	苗生時代其 ノ	—	—	被ルフルコル
2707	市	00010	苗生木製品	苗生時代其 ノ	—	—	被ルフルコル
2708	市	00011	苗生木製品	苗生時代其 ノ	—	—	被ルフルコル
2709	市	00012	苗生木製品	苗生時代其 ノ	—	—	被ルフルコル
2710	市	00013	苗生木製品	苗生時代其 ノ	—	—	被ルフルコル
2711	市	00014	苗生木製品	苗生時代其 ノ	—	—	被ルフルコル
2712	市	00015	苗生木製品	苗生	—	—	被ルフルコル

號碼51宮（頭痛重量：0550，重頭0522）

27980	浦	141	男	本	中世	第194-141	—	PEG (3ml组)
27981	浦	142	男	本	中世	第194-142	—	PEG (3ml组)

新金F4次(調查番号:0607 柴田972号)

27982	施	141	柱材	本	弥生时代後期	Fig20-1	-	PEG (3m幅)
27983	施	142	柱材	本	弥生时代後期	Fig20-2	-	PEG (3m幅)
27984	施	143	柱	木	古墳時代	Fig20-3	-	PEG (3m幅)
27985	施	144	柱	木	古墳時代	Fig20-4	-	PEG (3m幅)

28309 市 145 佳村 本

董留村下5次(调查番号:0621 市報979集)						
登記番号	種類	出土地点	形質	時代	測量番号	備考
Z7986	縄	00046	舟形木製品	木	古墳時代	Fig10-39 PL12-10-38 PEG (3m幅)
Z7987	縄	00047	羽状木製品	木	古墳時代	Fig10-43 PL12-10-32 PEG (3m幅)

229888 阿 000048 本圖の志村
229889 沖 000049 本

27900	■■■■■	耗	本	古曆時代	Fig11-19	FLD-11-9	PEG (Smell)
27901	■■■■■	耗	本	古曆時代	Fig11-31	-	PEG (Smell)
27902	■■■■■	耗	本	古曆時代	Fig10-14	FLD-10-11	PEG (Smell)
27903	■■■■■	耗	本	古曆時代	Fig11-47	-	PEG (Smell)
27904	■■■■■	耗	本	古曆時代	Fig11-19	FLD-11-9	PEG (Smell)
27905	■■■■■	耗	本	古曆時代	Fig11-19	FLD-11-9	PEG (Smell)
27906	■■■■■	耗	本	古曆時代	Fig11-15	-	PEG (Smell)
27907	■■■■■	耗	本	古曆時代	Fig11-16	-	PEG (Smell)
27908	■■■■■	耗	本	古曆時代	Fig10-41	FLD-10-31	PEG (Smell)
27909	■■■■■	耗	本	古曆時代	Fig10-42	FLD-10-9	PEG (Smell)
27910	■■■■■	耗	本	古曆時代	-	-	PEG (Smell)
28012	■■■■■	耗	本	古曆時代	-	-	PEG (Smell)
28013	■■■■■	耗	本	古曆時代	-	-	PEG (Smell)
28014	■■■■■	耗	本	古曆時代	-	-	PEG (Smell)

27737 市 500002 清苑 河北省 130233
27738 市 500934 清河 河北省 130202

地层号	层位号	资料名	材质	时代	报告书号	报告书图号	处理方法
28125	山0007	1#	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28126	山0008	1#	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28127	山0009	1#	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28128	山0009	木	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28129	山0009	1#木	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28149	山0092	不明	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28141	山0093	6#木	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28142	山0093	6#木	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28143	山0093	7#木	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28144	山0095	6#木	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28145	山0097	6#木	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28146	山0098	6#木	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28147	山0099	6#木	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28148	山0100	6#木	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28149	山0101	7#木	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28150	山0102	6#木	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28151	山0103	6#木	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28152	山0104	木	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28153	山0105	7#木	木	古森林代	-	-	PEG(2m)
28154	山0106	木	木	古森林代	-	-	PEG(2m)

処理No.	区分	直通No.	資料名	材質	時代	軽古書Flag	報告者ID	処理方法
27808	赤	20217	木片	木	中世	—	—	新アルゴルフ
27809	赤	20218	木片	木	朱雀-中世	—	—	新アルゴルフ
27810	赤	20219	木片	木	朱雀-中世	—	—	新アルゴルフ

北京112水(调查编号:0245, 分属1D49属)

高座20次 (調查番号: 0833 未記色)

2018-01-01

全言語AI次期(発表日: 09/09/2023)	
29311	李木綱
29312	李木綱
29313	李木綱
29314	李木綱
29315	李木綱
29316	李木綱
29317	李木綱
29318	李木綱
29319	李木綱
29320	李木綱

図2の横は回収操作実験、左は参照実験による

非相印CH文 (調查數量: 0/203, 完成1022題)

证据1次 (侦查卷号: 0725 审判10305)

26000	推	00561	且	古廟時代	Fig.14-61	-	- PEG (Chart)
26002	且	00562	木	古廟時代	Fig.14-62	-	- PEG (Chart)
26003	且	00563	木	古廟時代	Fig.14-63	-	- PEG (Chart)
26005	且	00564	木	古廟時代	Fig.14-64	-	- PEG (Chart)
26004	且	00565	木	古廟時代	Fig.14-65	-	- PEG (Chart)
26005	推	00566	木	古廟時代	Fig.14-66	-	- PEG (Chart)
26006	推	00567	木	古廟時代	Fig.14-67	-	- PEG (Chart)
26007	推	00568	木	古廟時代	Fig.14-68	-	- PEG (Chart)
26008	推	00569	木	古廟時代	Fig.14-69	-	- PEG (Chart)
26009	推	00570	木	古廟時代	Fig.14-70	-	- PEG (Chart)
26100	推	00571	木	古廟時代	Fig.14-71	-	- PEG (Chart)
31955	山	10246	四	木	古廟時代	-	- PEG (Chart)
31956	山	10248	四	木	古廟時代	-	- PEG (Chart)

香港A4次 (調查番號: 0737 市報1072集)

39309	#	30175	木片本	木 中裁		目アルコール
39321	#	30177	木片本	木 中裁		目アルコール
39322	#	30178	木片本	木 中裁		目アルコール
39323	#	30179	木片本	木 中裁		目アルコール
39324	#	30190	木片本	木 中裁		目アルコール
39325	#	30182	木片本	木 中裁		目アルコール
39326	#	30183	木片本	木 中裁		目アルコール
39327	#	30186	木片本	木 中裁		目アルコール
39328	#	30187	木片本	木 中裁		目アルコール
39329	#	30188	木片本	木 中裁		目アルコール
39330	#	30189	木片本	木 中裁		目アルコール
39331	#	30190	木片本	木 中裁		目アルコール
39332	#	30191	木片本	木 中裁		目アルコール
39333	#	30192	木片本	木 修正一中裁		目アルコール
39334	#	30193	木片本	木 中裁		目アルコール
39335	#	30194	木片本	木 中裁		目アルコール
39336	#	30195	木片本	木 中裁		目アルコール
39337	#	30196	木片本	木 中裁		目アルコール
39338	#	30197	木片本	木 中裁		目アルコール
39339	#	30198	木片本	木 中裁		目アルコール
39340	#	30200	木片本	木 修正一中裁		目アルコール
37785	#	30201	木片本	木 近世		目アルコール
37786	#	30202	木片本	木 近世		目アルコール
37787	#	30203	木片本	木 近世		目アルコール
37788	#	30204	木片本	木 近世		目アルコール
37789	#	30205	木片本	木 近世		目アルコール
37790	#	30206	木片本	木 近世		目アルコール
37791	#	30207	木片本	木 近世		目アルコール
37792	#	30210	木片本	木 近世		目アルコール
37803	#	30211	木片本	木 近世		目アルコール
37804	#	30213	木片本	木 修正一中裁		目アルコール
37805	#	30214	木片本	木 修正一中裁		目アルコール
37806	#	30215	木片本	木 修正一中裁		目アルコール
37807	#	30216	木片本	木 修正		目アルコール

(3) 金属器・その他の遺物

今年度、木製品以外で何らかの作業を行った資料は、27遺跡496点である。その内容は別表に示すとおりである。金属器類の保存処理は一部例外を除き、概ね以下の工程により行っている。

●事前調査：保存処理はしばしば人間の医療に喩えられるが、事前調査は病院の診察に当たる重要な工程である。肉眼による表面観察が基本となるが、その限界を補うために顕微鏡や透過X線など様々な理化学装置が用いられる。資料の腐食や劣化の状態を知ることを主目的として行われるが、それに付随して資料の材質、構造、付着物といった、考古学的に有益な情報も得られる。

●クリーニング：土や余分な腐食層の除去を目的とする。鉄製品はグラインダーやエアブランを使用。銅・青銅製品の一部や、これを基調とする金銅製品、ガラス製品など、表面層のデリケートな資料は、顕微鏡下でのアルコール洗浄やメス等を用いたクリーニングを行っている。

●安定化：金属製品のメタル部分は塩化物や硫化物イオンにより、著しく腐食が進行することが知られており、特にメタルが残存する資料はこれらの不活性化や除去が必要とされる。銅・青銅製品については、ベンゾ・トリ・アゾールにより塩類の不活性化を図っている。鉄製品については、内部にメタルが残存し全てが錆に置き換わっていない資料について、水酸化リチウムのアルコール溶液やセスキ炭酸ナトリウムの水溶液に浸漬する方法により脱塩処理を行う場合がある。

●樹脂含浸：資料の強化や腐食の要因物質からの隔離を目的として、合成樹脂を含浸し保護膜の形成を行う。いずれもアクリル樹脂を使用しているが、塗膜の厚さ等を考慮し、鉄製品にはパラロイドNAD-10を、銅・青銅製品にはパラロイドB-72を用いている。内部まで樹脂を浸透させる必要がある資料については50cmHg程度

の減圧含浸を実施。

●修復：接着については、特に強度を必要としないものはセルロース系、強度を要する場合はエポキシ系の接着剤を使用。欠損の補填を行う場合、接着剤にマイクロバルーンを混ぜて粘度を高めたものや、鉄粉入りのエポキシ樹脂（国際ケミカル：ポップメタル）などを使用している。

以上の工程を経た後も、決して安心はできない。温度や湿度などの周辺環境は資料の保全に影響を及ぼすものであり、処置後の資料もできる限り安定した環境で保管されることが望まれる。そこで埋蔵文化財センターでは、金属器等の資料については24時間温湿度調整を行っている特別収蔵庫にて保管している他、必要に応じて特殊な材質の袋に脱水、脱酸素の機能を持つた薬剤と共に資料を封入する方法（三菱ガス化学：RPシステム）での保管も行っている。

次に、今年度作業を行った中で主要な資料について報告する。

岸田遺跡（早良区早良4丁目）は早良平野の最奥部の丘陵上に位置する。弥生時代の甕棺墓や木棺墓が80基以上分布し、木棺墓1基・甕棺墓5基から銅劍5本・銅矛3本・鉄戈1本・青銅製把頭飾1点、合計10点の青銅器・鉄器が出土した。1つの調査で出土した青銅武器類の数としては、国史跡の吉武高木遺跡や吉武大石遺跡に次ぐ量である。



▲青銅製把頭飾（岸田遺跡）

銅矛の刃部に布目痕跡が付着することから布に巻いて副葬されたとわかるものがある。銅矛には筒部内部に木質が残るものがあった。鉄戈のはぞ穴には紐の痕跡が確認でき、柄の木質が一部残ることから柄に着装した状態で副葬されている。青銅製把頭飾は高さ6.2cmを測り、国内最大のようである。

香椎A遺跡第7次調査（東区香椎）でも銅矛が1本出土した。切先部側約1/3は欠損し、墓への副葬ではなく自然地形の窪みからの出土。

大塚遺跡第14次調査（西区今宿町）では、弥生時代終末期の堅穴住居跡から鍛冶に伴う鉄片類と石製鍛冶具がセットで出土し、良好な鍛冶工房の資料として注目される。この住居からはカマドも検出され、国内最古段階のカマドをもつ住居もある（『大塚遺跡4』2011、市報告書第1111集）。鉄鐵の可能性がある数点の鉄片以外はいずれも数cm以下の小さな鉄片で、平らな三角形鉄片や棒状のものが多い。三角形鉄片は、薄く延ばした四角形の鉄片の隅を切断して製品を作ったときの残滓である。

元岡・桑原遺跡群は西区の九州大学移転地にあたり、平成8年以来、15年にわたり発掘調査を実施中である。その第45次調査にあたる桑原古墳群A-10号墳から鉄刀・鉄鎌・刀子・鑿の鉄製品と耳環・各種の玉類（管玉・小玉・丸玉・空玉・ナツメ玉）が出土した。耳環は3点あり、色調と太さから2種類に分けられる。これら耳環の開口部の顕微鏡観察と蛍光エックス線による材質調査の結果、A. 開口部にしわがあり、金・銅が検出され水銀は検出されないものの、B. 開口部にしわがなく、金・銅・水銀が検出されるものの、特徴があった。このことより、異なる方法で製作されていることがわかった。Aは銅芯に薄く延ばした金板を巻きつけた銅芯金板張耳環、Bは銅芯に金メッキをほどこした銅芯金鍍金耳環である。

同じく元岡第55次調査にあたる元岡古墳群G-1号墳では、大刀4本、銅鏡1面、胡ろく金具、馬具、耳環、各種の玉類（銀製空玉・琥

珀製ナツメ玉・水晶製切子玉・ヒスイ製勾玉など）が出土した。出土土器から7世紀初頭の築造と推定される。大刀のうち1本は金銅製の主頭柄頭をもち、柄には銀線を巻いている。

千里遺跡第1次調査（西区千里）では、弥生時代早期のピットから青緑色の石製丸玉が出土した。蛍光エックス線分析の結果、アルミニウム・ケイ素・カリウム・ルビジウムが明瞭なピークとなって現れ、アマゾナイトの鉱物標本とよく似たチャートを示した。よってアマゾナイトと同定した。アマゾナイトは北部九州や四国地方の弥生時代の遺跡での出土が少量確認されている。福岡市内では5点目となる。朝鮮半島ではアマゾナイト製の玉類が比較的多く確認されていることから、渡米系遺物と考える説もあり、今後の類例の蓄積が期待される。

他に、久保園遺跡（博多区福岡空港内）の青銅製鋤先5点ほか計13点、倉瀬戸古墳群（城南区片江）の馬具類・耳環など26点、卯内尺古墳群（南区老司）の袋状鉄斧・鉄鎌ほか計5点、などの保存処理も行った。

（4）その他の作業について

この他、発掘現場からの保存科学的作業の依頼については例年通り、逐次対応している。今年度は、岸田遺跡や元岡G-1号墳において金属遺物の取り上げ作業を行った。

埋蔵文化財センターにおいて平成11年度に導入された文化財用事前調査機器類は、前にも記したように考古学的に有益な情報も得ることができる。これらの装置をまとめて揃えている施設は九州内でも限られており、周辺自治体の関連部署からは機器の使用が求められてきた。そこで、外部からの利用については、平成12年度に策定された利用基準（巻末参照）に依拠した作業を行っている。平成22年度は福岡県内の市町村を中心に、九州各地の自治体、大学などの研究期間から使用許可申請が提出され、それに基づいて対応した。

表4 平成22(2010)年度保存処理金属器一覧

登録番号	出物番号	資料名	材質	時代	報告書kg
大牟田古墳群1次(調査番号:16911 来報告)					
27538	22006	U字形鉢先	銅	古墳	
糸瀬芦古墳群(調査番号:2106報告書:糸瀬芦古墳群調査1973)					
27854	30022	U字形鉢先	銅	古墳	36.14
27855	30026	耳環	金屬	古墳	38.1
27856	30027	耳環	金屬	古墳	38.2
27857	30028	耳環	金屬	古墳	38.3
27858	30029	耳環	金屬	古墳	38.4
27859	30030	耳環	金屬	古墳	38.5
27860	30031	耳環	金屬	古墳	38.6
27861	30032	旗盤	銅	古墳	41.1
27862	30033	旗盤	銅	古墳	41.2
27863	30034	旗盤	銅	古墳	未同化
27864	30035	旗盤	銅	古墳	未同化
27865	30036	旗盤	銅	古墳	未同化
27866	30037	旗盤	銅	古墳	未同化
27867	30038	旗盤	銅	古墳	未同化
27868	30039	旗盤	銅	古墳	未同化
27869	30040	棒状鉢頭	銅	古墳	未同化
27870	30041	不明鉢頭	銅	古墳	未同化
27871	30042	旗盤	銅	古墳	未同化
27872	30043	旗盤	銅	古墳	未同化
27873	30044	環状旗板付箋	銅	古墳	未同化
27874	30045	内湾円形旗板付箋	銅	古墳	未同化
27875	30046	直筒	銅	古墳	未同化
27876	30047	達貝貝	銅	古墳	未同化
27877	30048	旗盤(はみ片)	銅	古墳	未同化
27878	30049	鏡貝	銅	古墳	未同化
27879	30054	内湾円形旗板付箋	銅	古墳	未同化

新立古墳(調査番号:7611年度46集)

登録番号	出物番号	資料名	材質	報告書
鶴鹿古墳(調査番号:7611年度46集)				
25497		鏡全貝	銅	古墳
				未同化
鶴鹿古墳1次(調査番号:8411年度)				
27648		手鏡	銅	弥生
27649		手鏡	銅	弥生
27650		手鏡	銅	弥生
27651		手鏡	銅	弥生
27652		鏡	銅	弥生
27653		板状製品	銅	弥生

福地城跡12次(調査番号:8840市報203集)

27546	00029	小刀	銅	近世	13.90
27547	00030	ヤク先	鍍	近世	13.89
27548	00031	丸釘	銅	近世	13.91
27549	00032	丸釘	銅	近世	13.92

鶴歩42次(調査番号:8843市報245集)

28341	08090	小刀	銅	古墳	178.31
-------	-------	----	---	----	--------

東入船11次(調査番号:9529未報告)

27525		刀	銅	中世	
27526		刀	銅	中世	
27527		刀	銅	中世	
27528		刀	銅	中世	
27529		刀	銅	中世	
27530		刀	銅	中世	
27531		刀	銅	中世	
27532		刀	銅	中世	
27533		刀	銅	中世	
27534		刀	銅	中世	
27535		刀	銅	中世	
27536		刀	銅	中世	
27537		刀	銅	中世	
27538		刀	銅	中世	
27539		刀	銅	中世	
27540		刀	銅	中世	
27541		刀	銅	中世	
27542		刀	銅	中世	
27543		刀	銅	中世	
27544		刀	銅	中世	
27545		刀	銅	中世	
27546		刀	銅	中世	
27547		刀	銅	中世	
27548		刀	銅	中世	

登録番号	出物番号	資料名	材質	時代	報告書kg
27549		刀	銅	中世	
27550		刀	銅	中世	
27551		刀	銅	中世	
27552		刀	銅	中世	
27553		刀	銅	中世	
27554		刀	銅	中世	
27555		刀	銅	中世	
27556		刀	銅	中世	
27557		刀	銅	中世	
27558		刀	銅	中世	
27559		刀	銅	中世	
27560		刀	銅	中世	
27561		刀	銅	中世	
27562		刀	銅	中世	
27563		刀	銅	中世	
27564		刀	銅	中世	
27565		刀	銅	中世	
27566		刀	銅	中世	
27567		刀	銅	中世	
27568		刀	銅	中世	
27569		刀	銅	中世	
27570		刀	銅	中世	
27571		刀	銅	中世	
27572		刀	銅	中世	
27573		刀	銅	中世	
27574		刀	銅	中世	
27575		刀	銅	中世	
27576		刀	銅	中世	
27577		刀	銅	中世	
27578		刀	銅	中世	
27579		刀	銅	中世	
27580		刀	銅	中世	
27581		刀	銅	中世	
27582		刀	銅	中世	
27583		旗津	銅	中世	
27584		旗津	銅	中世	
27585		繩形瓦質	銅	青銅器	
27586		繩形瓦質	銅	青銅器	
27587		刀	銅	中世	
27588		刀	銅	中世	
27589		旗津	銅	中世	
27590		刀	銅	中世	
27591		刀	銅	中世	
27592		刀	銅	中世	
27593		刀	銅	中世	
27594		旗津	銅	中世	
27595		刀	銅	中世	
27596		刀	銅	中世	
27597		旗片	銅	中世	
27598		不明	銅	中世	
27599		刀子狀	銅	中世	
27600		銅金狀	銅	中世	
27601		鏡片	銅	中世	
27602		腰帶	銅	中世	
27603		刀	銅	中世	
27604		旗津	銅	中世	
27605		刀	銅	中世	
27606		旗片	銅	中世	
27607		刀	銅	中世	
27608		刀	銅	中世	
27609		刀	銅	中世	
27610		刀	銅	中世	
27611		腰帶	銅	中世	
27612		不明	銅	中世	
27613		刀	銅	中世	
27614		腰帶	銅	中世	
27615		腰帶	銅	中世	
27616		腰帶	銅	中世	
27617		刀	銅	中世	
27618		刀	銅	中世	
27619		旗津	銅	中世	
27620		刀	銅	中世	

检测编号	进物番号	資料名	材质	時代	報告書kg.
27621		假狀	鍛	中世	
27622		好	鍛	中世	
27623		假狀	鍛	中世	
27624		好	鍛	中世	
27625		詔津	鍛	中世	
27626		無津	鍛	中世	
27627		訂	鍛	中世	
27628		假狀	鍛	中世	
27629		假狀	鍛	中世	
27630		封	鍛	中世	
27631		假狀	鍛	中世	
27632		好	鍛	中世	
27633		訂	鍛	中世	
27717		不明	鍛	中世	
27718		假狀	鍛	中世	
27719		假狀	鍛	中世	
27720		好	鍛	中世	
27721		假狀	鍛	中世	
27722		鐵片	鍛	中世	
27723		鐵片	鍛	中世	
27724		訂	鍛	中世	
27725		訂	鍛	中世	
27726		不明	鍛	中世	
27727		訂	鍛	中世	
27728		鐵片	鍛	中世	
27729		訂	鍛	中世	
27730		天	鍛	中世	
27731		假狀	鍛	中世	
27732		鐵片	鍛	中世	
27733		假狀	鍛	中世	
27734		不明	鍛	中世	

鳥島城跡3次(調査番号:0556市報1084集)

27852	0001-0031325	訂	鍛	安土桃山	29.65±6.06
27853	00064	縱	鍛	安土桃山	29.63

元岡・点替45次(調査番号:0555市報1105集)

27502	00120	素面刀子	鍛	古墳	V-26-120
27503	00121	鉤頭	鍛	古墳	V-26-121
27504	00122	青銅片か	鍛	近代	V-26-122
27505	00123	髪	鍛	近世	V-26-123
27811	00080	鉤頭	鍛	古墳	V-21-80
27812	00081	鉤頭	鍛	古墳	V-21-81
27813	00082	鉤頭	鍛	古墳	V-21-82
27814	00083	鉤頭	鍛	古墳	V-21-83
27815	00084	鉤頭	鍛	古墳	V-21-84
27816	00085	鉤頭	鍛	古墳	V-21-85
27817	00086	鉤頭	鍛	古墳	V-21-86
27818	00087	鉤頭	鍛	古墳	V-21-87
27819	00088	鉤頭	鍛	古墳	V-21-88
27820	00089	鉤頭	鍛	古墳	V-21-89
27821	00090	鉤頭	鍛	古墳	V-21-90
27822	00091	鉤頭	鍛	古墳	V-21-91
27823	00092	鉤頭	鍛	古墳	V-21-92
27824	00093	鉤頭	鍛	古墳	V-21-93
27825	00094	鉤頭	鍛	古墳	V-21-94
27826	00095	鉤頭	鍛	古墳	V-21-95
27827	00096	鉤頭	鍛	古墳	V-21-96
27828	00097	鉤頭	鍛	古墳	V-21-97
27829	00098	鉤刀	鍛	古墳	V-21-98
27830	00099	刀子	鍛	古墳	V-22-99
27831	00101,00102	鉤刀	鍛	古墳	V-22-101,102
27832	00103	鉤刀	鍛	古墳	V-22-103
27833	00100	髪	鍛	古墳	V-22-100
27834	00104	ガラス小玉	ガラス	古墳	V-23-104
27835	00105	ガラス小玉	ガラス	古墳	V-23-105
27836	00108	空玉	鍛	古墳	V-23-108
27837	00109	壓縮墨	その他	古墳	V-23-109
27838	00110	壓縮墨	その他	古墳	V-23-110
27839	00111	壓縮墨	その他	古墳	V-23-111
27840	00112	壓縮墨	その他	古墳	V-23-112
27841	00113	壓縮墨	その他	古墳	V-23-113
27842	00114	壓縮墨	その他	古墳	V-23-114

修理番号	進物番号	資料名	材質	時代	報告書kg.
27843	00115	耳環	金銅	古墳	V-23-115
27844	00116	耳環	金銅	古墳	V-23-116
27845	00117	耳環	金銅	古墳	V-23-117

進物114次(調査番号:0627市報1082集)

27843	00115	耳環	金銅	古墳	V-23-115
27844	00116	耳環	金銅	古墳	V-23-116
27845	00117	耳環	金銅	古墳	V-23-117
27654	30001	たがね	鍛	古墳	238-895
27655	30010	打	鍛	不明	未開化
27656	30011	訂	鍛	不明	未開化
27657	30012	打	鍛	不明	未開化
27658	30013	くさり	鍛	不明	未開化
27660	30014	長い棒状	鍛	不明	未開化
27660	30015	打ひか	鍛	不明	未開化
27661	30016	平明	鍛	不明	未開化
27662	30017	板状	鍛	不明	未開化
27663	30018	訂	鍛	不明	未開化
27664	30019	板状	鍛	不明	未開化
27665	30020	訂	鍛	不明	未開化
27666	30021	不明	鍛	不明	未開化
27667	30022	訂	鍛	不明	未開化
27668	30023	不明	鍛	不明	未開化
27669	30024	板状	鍛	不明	未開化
27670	30025	打	鍛	不明	未開化
27671	30026	打	鍛	不明	未開化
27672	30027	打	鍛	不明	未開化
27673	30028	U字留金	鍛	現代	未開化
27674	30029	打ひか	鍛	不明	未開化
27675	30030	打	鍛	不明	未開化
27676	30031	訂	鍛	不明	未開化
27677	30032	打	鍛	不明	未開化
27678	30033	不明	鍛	不明	未開化
27679	30041	残質	鉛	古墳	明治
27680	30042	残質	鉛	古墳	江戸
27681	30043	残質	鉛	古墳	明治
27682	30044	残質	鉛	古墳	未開化
27683	30045	残質	鉛	古墳	江戸
27684	30050	セナ	鉛	古墳	江戸

田村21次(調査番号:0652市報1031集)

27637	00365	筆	鍛	古墳-中世	24-155
博多172次(調査番号:0705市報1086集)					
27405	40007	鉤頭	鍛	刀子	14C 281-364
27496	40008	鉤刀	鍛	刀子	14C 234-2
27497	40009	刀子	鍛	刀子	14C 234-1
27498	40010	鉤頭	鍛	鉤	生
27499	40011	鉤頭	鍛	鉤	14C 281-365
27500	40012	刀子	鍛	刀子	14C 234-24

27835	40007	鉤頭	鍛	鉤	生
28340	40149	鉤頭	鍛	鉤	生
28347	40077	鉤頭の茎	鍛	鉤	生
28348	40008	鉤頭鋸	鍛	鉤	生
28349	40016	鉤頭鋸	鍛	鉤	生
28350	40012	鉤頭造輪に伴う鉄片	鍛	鉤	生
28351	40014	鉤頭造輪に伴う鉄片	鍛	鉤	生
28352	40011	鉤頭造輪に伴う鉄片	鍛	鉤	生
28353	40024	鉤頭造輪に伴う鉄片	鍛	鉤	生
28354	40150	鉤頭造輪に伴う鉄片	鍛	鉤	生
28355	40013	鉤頭造輪に伴う鉄片	鍛	鉤	生
28356	40009	鉤頭造輪に伴う鉄片	鍛	鉤	生
28357	40009	鉤頭造輪に伴う鉄片	鍛	鉤	生
28358	40090	鉤頭造輪に伴う鉄片	鍛	鉤	生
28359	40007	鉤頭造輪に伴う鉄片	鍛	鉤	生
28360	40019	鉤頭造輪に伴う鉄片	鍛	鉤	生
28361	40041	鉤頭造輪に伴う鉄片	鍛	鉤	生
28362	40039	鉤頭造輪に伴う鉄片	鍛	鉤	生
28363	40040	鉤頭造輪に伴う鉄片	鍛	鉤	生
28364	40020	鉤頭造輪に伴う鉄片	鍛	鉤	生
28365	40032	鉤頭造輪に伴う鉄片	鍛	鉤	生

地図番号	地図番号	資料名	材質	時代	報告書番号
28366	40035	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-22
28367	40035	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-23
28368	40045	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-24
28369	40070	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-25
28370	40049	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-26
28371	40068	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-27
28372	40072	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-28
28373	40048	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-29
28374	40073	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-30
28375	40074	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-31
28376	40152	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-32
28377	40091	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-33
28378	40044	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-34
28379	40055	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-35
28380	40015	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-36
28381	40035	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-37
28382	40034	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-38
28383	40048	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-39
28384	40029	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-40
28385	40108	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-41
28386	40021	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-42
28387	40083	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-43
28388	40054	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-44
28389	40055	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-45
28390	40084	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-46
28391	40109	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-47
28392	40068	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-48
28393	40071	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-49
28394	40051	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-50
28395	40076	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-51
28396	40075	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-52
28397	40122	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	71-53
28398	40023	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-54
28399	40106	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-55
28400	40095	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-56
28401	40025	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-57
28402	40043	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-58
28403	40100	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-59
28404	40098	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-60
28405	40042	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-61
28406	40094	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-62
28407	40096	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-63
28408	40105	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-64
28409	40101	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-65
28410	40102	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-66
28411	40107	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-67
28412	40026	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-68
28413	40055	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-69
28414	40097	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-70
28415	40027	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-71
28416	40036	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-72
28417	40103	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-73
28418	40104	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-74
28419	40037	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-75
28420	40018	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-76
28421	40088	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-77
28422	40089	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-78
28423	40086	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-79
28424	40093	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-80
28425	40092	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-81
28426	40079	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-82
28427	40078	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-83
28428	40087	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-84
28429	40088	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-85
28430	40082	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-86
28431	40065	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-87
28432	40081	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-88
28433	40132	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-89
28434	40131	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-90
28435	40126	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-91
28436	40053	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-92
28437	40136	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-93

地図番号	地図番号	資料名	材質	時代	報告書番号
28438	40112	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-94
28439	40058	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-95
28440	40135	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-96
28441	40138	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-97
28442	40149	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-98
28443	40067	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-99
28444	40137	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-100
28445	40062	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-101
28446	40061	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-102
28447	40064	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-103
28448	40146	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-104
28449	40125	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-105
28450	40030	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-106
28451	40069	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-107
28452	40059	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-108
28453	40069	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-109
28454	40050	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-110
28455	40063	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-111
28456	40066	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-112
28457	40139	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-113
28458	40142	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-114
28459	40143	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-115
28460	40085	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-116
28461	40110	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-117
28462	40111	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-118
28463	40144	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-119
28464	40114	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-120
28465	40117	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-121
28466	40145	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-122
28467	40119	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-123
28468	40129	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-124
28469	40031	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-125
28470	40113	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-126
28471	40115	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-127
28472	40116	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-128
28473	40118	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-129
28474	40120	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-130
28475	40123	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-131
28476	40127	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-132
28477	40141	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-133
28478	40133	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-134
28479	40130	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-135
28480	40134	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-136
28481	40121	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-137
28482	40128	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-138
28483	40124	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-139
28484	40092	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	72-140
28485	40017	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	73-141
28486	40153	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	73-142
28487	40047	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	73-143
28488	40010	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	73-144
28489	40151	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	73-145
28490	40156	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	73-146
28491	40147	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	73-147
28492	40148	昭和遺構に伴う鉄片	鉄	昭生	73-148
28493	40002	■	鉄	古墳	74-1
28494	40001	偏状鉄斧	鉄	古墳	74-2
28495	40004	刃	鉄	古墳	74-3

古墳A4次(調査番号:0737市町1072集)

27834	00692	青銅の環形	青・青銅	中世	99-892
27635	00693	釣	青・青銅	中世	99-893
27636	00694	笄	青・青銅	中世	99-894
箱根G6次(調査番号:0762未報告)					
27487	40074	和鍵	鉄	江戸	
27490	毛抜き	鉄	江戸		
27491	刀子	刀子	江戸		
27492	利鉤	鉄	江戸		
27493	毛抜き	鉄	江戸		
27494	刀子	鉄	江戸		
久保田4次(調査番号:0827未報告)					
27639	00701	跡先	鉄・青銅	昭生	

括弧番号	満物名	資料名	材質	時代	報告書No.
27640	鉢先	鉢・青銅	錫生		
27641	蓋	鉢・青銅	錫生		
27642	和同開口	鉢・青銅	錫生		
27643	蓋	鉢・青銅	錫生		
27644	舟状瓶身	鉢	錫生		
27645	座文鏡	鉢	錫生		
27646	座文鏡	鉢	古代		
27647	相模	鉢	近世		
27648	馬先	鉢・青銅	錫生		
27649	蓋	鉢・青銅	錫生		
27650	鉢	鉢・青銅	錫生		
27651	詰	鉢	錫生		
27652	詰	鉢	錫生		
27653	詰	鉢	錫生		
27654	詰	鉢	錫生		
27655	座文鏡	鉢	錫生		
27656	座文鏡	鉢	錫生		
27657	相模	鉢	近世		
27658	馬先	鉢・青銅	錫生		
27659	蓋	鉢・青銅	錫生		
27660	鉢	鉢・青銅	錫生		
27661	詰	鉢	錫生		
27662	詰	鉢	錫生		
27663	詰	鉢	錫生		
27664	詰	鉢	錫生		
27665	座文鏡	鉢	錫生		
27666	座文鏡	鉢	錫生		
27667	相模	鉢	近世		
27668	馬先	鉢・青銅	錫生		
27669	蓋	鉢・青銅	錫生		
27670	鉢	鉢・青銅	錫生		
27671	詰	鉢	錫生		
27672	詰	鉢	錫生		
27673	詰	鉢	錫生		
27674	詰	鉢	錫生		
27675	詰	鉢	錫生		
27676	詰	鉢	錫生		
27677	詰	鉢	錫生		
27678	詰	鉢	錫生		
27679	詰	鉢	錫生		
27680	詰	鉢	錫生		
27681	詰	鉢	錫生		
27682	詰	鉢	錫生		
27683	詰	鉢	錫生		

井田B32次(調査番号:0849未報告)

27788	2ECS05-001	銀鍔	鉢	錫生
27789	3EKSX121	刀子	鉢	錫生

井田A1次(調査番号:10913未報告)

27713	33001	刀子	鉢	中世	7-1B-140
27714	33004	小短矛	鉢	古墳	9-23-145
27715	33002	刃	鉢	中世	7-15-88
27716	33003	右胸当子に付着の野	鉢	中世	7-15-97
27717		不明	鉢	未分化	
27718		刃	鉢	未分化	
27719		不明	鉢	未分化	
27720		不明	鉢	未分化	
27721		不明	鉢	未分化	
27722		不明	鉢	未分化	
27723		不明	鉢	未分化	
27724		不明	鉢	未分化	
27725		不明	鉢	未分化	
27726		不明	鉢	未分化	
27727		不明	鉢	未分化	
27728		不明	鉢	未分化	
27729		不明	鉢	未分化	
27730		不明	鉢	未分化	
27731		不明	鉢	未分化	
27732		刀子片	鉢	錫生	

井田A12次(調査番号:0926未報告)

27790		鉢段	鉢	中世
27791		鉢環	鉢	中世?
27792		刀子片	鉢	錫生

井田A1次(調査番号:0930未報告)

28526		鉢刺	鉢・青銅	錫生
28527		鉢刺	鉢・青銅	錫生
28528		鉢刺	鉢・青銅	錫生
28529		把頭部	鉢・青銅	錫生
28530		圓平	鉢・青銅	錫生
28531		鉢刺	鉢・青銅	錫生
28532		圓平	鉢・青銅	錫生
28533		鉢刺	鉢・青銅	錫生
28534		圓平	鉢・青銅	錫生
28535		鉢刺	鉢	錫生

井田A5次(調査番号:0932未報告)

27891		U字形頭先	鉢
-------	--	-------	---

元園A1次(調査番号:1001未報告)

28448		耳環	その他の金属	古墳
28449		耳環	その他の金属	古墳
28500		耳環	その他の金属	古墳
28501		空玉半球	その他の金属	古墳
28502		空玉半球	その他の金属	古墳
28503		耳環	その他の金属	古墳
28504		耳環	その他の金属	古墳
28505		耳環	その他の金属	古墳
28506		耳環	その他の金属	古墳
28607		耳環	その他の金属	古墳
28608		耳環	その他の金属	古墳
28609		耳環	その他の金属	古墳
28610		耳環	その他の金属	古墳
28611		耳環	その他の金属	古墳
28612		耳環	その他の金属	古墳
28613		耳環	鉢	古墳
28614		耳刀	鉢	古墳
28615		耳刀	鉢	古墳
28616		耳刀	鉢	古墳
28617		閉鎖金具	鉢	古墳
28618		閉鎖金具	鉢	古墳
28619		耳環	その他の金属	古墳
28620		耳環	その他の金属	古墳
28621		耳環	鉢・青銅	古墳

船洋番号	進物番号	資料名	材質	時代	報告書No.
28522		耳環	その他の金属	古墳	
28523		耳環	その他の金属	古墳	
28524		耳環	鉢・青銅	古墳	
28525		耳環	鉢・青銅	古墳	

井田B26次(調査番号:1017未報告)

27769		小刀状品	鉢	中世
27770		鉢(元底面質)	鉢・青銅	中世
27771		鉢(元底面質)	鉢・青銅	中世
27772		鉢	鉢・青銅	中世
27773		鉢(元底面質)	鉢・青銅	中世
27774		鉢(元底面質)	鉢・青銅	中世
27775		鉢(元底面質)	鉢・青銅	中世
27776		鉢(元底面質)	鉢・青銅	中世
27777		鉢	鉢・青銅	中世
27778		鉢	鉢・青銅	中世
27889		耳	鉢	中世
27890		刀子狀	鉢	中世

吉田A7次(調査番号:1009未報告)

28310		烟斗	青銅	身生
-------	--	----	----	----

吉田B27次(調査番号:1010未報告)

27735		水差道具質	鉢・青銅	中世
-------	--	-------	------	----

乙石4次(調査番号:1020未報告)

27768		ぼん鉢	鉢	現代
-------	--	-----	---	----

鶴内尺古加群(調査番号:1021未報告)

27884		黄秋葉原	鉢	古墳
27885		鉢	鉢	古墳
27886		月子	鉢	古墳
27887		たかね	鉢	古墳
27888		鉢	鉢	古墳

4. 入館者数

1. 入館者総数

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)	
個別学年	日数	26	26	26	27	26	26	27	25	23	23	24	27	306		
	男	124	156	145	180	163	151	113	108	105	84	89	112	1,530	54.9%	
	女	56	64	58	100	81	61	46	47	51	43	50	46	703	25.2%	
	小計	180	220	203	280	244	212	159	155	156	127	139	158	2,233	80.1%	
	小学生	52	35	8	14	23	22	9	3	1	7	3	9	186	6.7%	
	中学生	10	2	2	5	10	21	14	4	0	2	1	0	71	2.5%	
	高校生	1	0	0	3	4	2	2	1	0	0	0	1	14	0.5%	
	大学生	7	4	9	9	9	141	33	17	12	4	4	21	8	269	9.7%
	その他	2	0	2	1	3	0	1	2	1	1	0	1	14	0.5%	
	小計	72	41	21	32	181	78	43	22	6	14	25	19	554	19.9%	
合計(a)		252	261	224	312	425	290	202	177	162	141	164	177	2,787	100.0%	
一般		22	216	356	283	249	455	402	293	225	138	116	122	2,877	65.3%	
(団体数)		4	5		3	10	6	4	4	1	2	4	4	43		
小学生		564	213	296	75	41	8	0	120	81	0	0	17	1,385	31.4%	
(団体数)		3	3		1	1			1	1			1	11		
中学生		0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0.1%	
(団体数)		1											0	1		
高校生		0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	24	0	39	0.9%	
(団体数)						1						1		2		
大学生		0	0	38	2	29	4	11	0	0	17	0	0	101	2.3%	
(団体数)		1				3	1	1			1		0	7		
合計(b)		586	429	664	361	334	467	413	413	306	155	140	139	4,407	100.0%	
(団体数)		0	7	10	7	8	12	7	5	5	2	3	5	71		
総計(ta+b)		838	690	888	673	759	757	615	590	468	296	304	316	7,194		
出向授業		602	520	858	524	0	554	400	581	0	10	0	0	4,109		
(学校)		8	8	9	5	0	6	3	5	0	1	0	0	0	45	

2. 入館者年齢区分(判断分)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
0~19才	68	38	12	24	41	45	26	10	2	10	5	11	292	7.0%
20~29才	20	23	25	31	157	48	33	51	59	39	64	21	571	13.8%
30~39才	34	37	39	44	61	46	139	149	107	151	114	54	975	23.5%
40~49才	42	70	53	76	77	72	135	110	105	96	95	69	1,000	24.1%
50~59才	37	36	46	65	49	39	67	73	69	72	79	101	733	17.7%
60~69才	35	38	31	50	30	28	62	23	15	19	33	44	408	9.9%
70~79才	14	14	16	19	10	11	19	10	4	6	8	5	136	3.3%
80才以上	2	5	2	2	0	1	6	2	2	2	3	0	27	0.7%
計	252	261	224	311	425	290	487	428	363	395	401	305	4,142	100.0%

3. 入館者住所区分(判断分)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
福岡市	182	183	162	191	309	186	366	329	300	348	336	233	3,125	75.5%
福岡県内	38	36	44	77	72	40	75	43	36	37	30	35	563	13.6%
福岡外	23	42	17	37	42	61	44	52	23	9	20	29	399	9.6%
国外	9	0	1	6	2	3	2	4	3	1	15	8	54	1.3%
計	252	261	224	311	425	290	487	428	362	395	401	305	4,141	100.0%

4. 平成20~22年度一覧表

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平年計	合計
平成20年度	314	993	594	500	345	623	824	859	276	279	490	426	3,369	6,523
平成21年度	473	465	454	396	535	383	574	653	279	415	749	568	5,943	5,943
平成22年度	838	690	888	673	759	757	615	590	468	296	304	316	4,605	7,194
区分	26	26	26	27	26	27	25	23	23	24	27			
各月一日平均人	32.2	26.5	34.2	24.9	29.2	29.1	22.8	23.6	20.3	12.9	12.7			11.7
12月度累計人	838	1,528	2,416	3,089	3,848	4,605	5,220	5,810	6,278	6,574	6,878			7,194
開館日間累計人	334,775	335,465	336,353	337,026	337,785	338,542	339,157	339,747	340,215	340,511	340,815	341,131		

5. 平成22年度当初予算

(1) 岁入

18,836千円 (国庫補助金 4,518千円、県支出金 13,364千円、使用料 3千円、諸収入 951千円)

(2) 岁出

77,908千円 (自主財源 59,072千円) 内訳: 管理運営費 40,469千円、事業費 37,439千円

II 埋蔵文化財センターの概要

1. 組織と職員

(1) 福岡市文化財行政の組織

教育委員会	教育長	教育次長	文化財部長
文化財整備課	運用係	部の総括、予算・決算、庶務・経理、文化財施設の管理	
	整備第1係	史跡の保存・整備・活用、現状変更、文化財保護審議会	
	整備第2係	福岡城跡及び鴻臚館の調査・史跡整備	
	主査	文化財行政の企画	
	主査	歴史まちづくり推進事業	
	課長	文化財調査	
埋蔵文化財第1課	管理係	埋蔵文化財第1・2課の予算・決算、経理、課の庶務	
	事前審査係	公共及び民間開発事業に係る埋蔵文化財の事前審査	
埋蔵文化財第2課	調査第1係	主に東部地区における埋蔵文化財の発掘調査及び保存、課の庶務	
	調査第2係	主に西部地区における埋蔵文化財の発掘調査及び保存	
埋蔵文化財センター	運営係	施設の管理運営、考古学的資料の収集・保存・展示・教育普及	

(2) 埋蔵文化財センターの職員（平成22年度）

所長 池崎 譲二	運営係長	坂口 茂	文化財主事 田上一郎	嘱託 石井 千絵里 (保存処理指導員)
			文化財主事 星野 恵美	力武 卓治 (文化財教育普及専門員)
	主任文化財主事	荒牧 宏行	文化財主事 上角 智希	

2. 施設

(1) 施設の概要

当センターは敷地面積4,000m²、鉄筋コンクリート造3階建（建築面積1,015m²、延床面積1,992m²）の規模で昭和57年2月開館した。その後、昭和61年3月に収蔵庫を中心とした増築（増建築面積1,035m²、増床面積1,994m²）を行った。さらに平成9年度から大規模な増築・改造を実施し、平成11年4月にリニューアルオープンの運びとなった。現在、敷地面積7,481m²、建築面積3,987m²、延床面積10,713m²の施設規模である。

(2) 施設の紹介

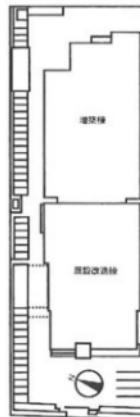
ホームページ(<http://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/>)には施設概要のほか前年度の事業実績、年度毎の保存処理の具体例、収蔵遺物などを掲載している。また、講座案内・申し込み受付も行っている。



(2) 主な施設

施設区分	室名	床面積(㎡)
教育普及	第1展示室	167.00
	第2展示室	127.00
	第3展示室	61.00
	研修室	140.00
	図書室・図書コーナー	181.00
	貸出準備室	85.00
	資料閲覧室	58.00
収蔵	収蔵庫	5,601.00
	特別収蔵庫	547.00
	記録類収蔵庫	192.00
	荷解・搬入室	65.00
	消毒室	23.00

施設区分	室名	床面積(㎡)
保存処理	木器保存処理室	426.00
	金属器処理室	156.00
	分析室(光学機器室)	~ 154.00
資料整理	洗浄室	37.00
	資料整理室	235.00
	写場・暗室	63.00
管 理	倉庫	58.00
	事務・会議室等	140.00
	警備・機械室等	258.00
その他	通路・エレベーター等	1,434.00
	底・トランクヤード等	505.00
計		10,713.00



建物配置図 ➤

正面入口

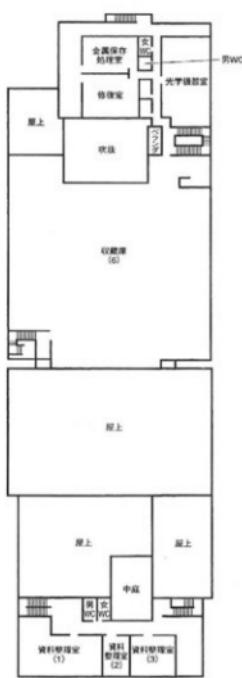
▼ 施設平面図



(1階)



(2階)



(3階)

付1 福岡市埋蔵文化財センター条例等

福岡市埋蔵文化財センター条例

(昭和56年12月21日)
（条例 第66条）

(設置)

第1条 発掘調査等で出土した考古学的資料（以下「資料」という。）の保存と活用を図り、もって市民文化の向上に資するため、福岡市埋蔵文化財センター（以下「センター」という。）を福岡市博多区井相田二丁目に設置する。

(事業)

第2条 センターは、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 資料を展示し、公開すること。
- (3) 資料の専門的調査研究を行うこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの設置の目的達成に必要なこと。

(職員)

第3条 センターに所長その他必要な職員を置く。

(入館の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号いずれかに該当する者に対し、入館を拒み、又は退去を命ぜることができる。

- (1) センターの管理上必要な指示又は指導に従わないとする者。

- (2) センターの管理上支障があると認められる者。
(資料の貸出し)

第5条 教育、学術若しくは文化に関する機関若しくは団体又は学術研究のため特に資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けて資料の貸出しが受けができる。

2 前項の貸出しは、資料の保管について安全が確保できると認められる場合に限り行うものとする。

(損害賠償)

第6条 資料の観覧者又は貸出しを受けた者が、その責めに帰すべき事由によりセンターの建物若しくは施設又は資料を破損し、滅失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これらを現状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、センターの管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して3月を越えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。

(昭和57年教規則第3号により)
(昭和57年2月22日から施行)

福岡市埋蔵文化財センター条例施行規則

(昭和57年1月25日)
(教育委員会規則第1号)

改正 昭和61年一教規則2、平成3年一教規則7、
平成4年一教規則3、平成11年一教規則1

(趣旨)

第1条 この規則は、福岡市埋蔵文化財センター条例（昭和56年福岡市条例第66号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 福岡市埋蔵文化財センター（以下「センター」という。）の事務を行うため、センターに運営係を置く。

(職員)

第3条 センターに所長、係長、吏員その他の職員を置く。

2 前項の職員のほか、特定事務を担当させるため、センターに主任文化財主事及び文化財主事を置くことができる。

3 所長、係長、主任文化財主事及び文化財主事は、史員のうちから命ずる。

4 係長又は主任文化財主事のうちから總括係長を命ずることがある。

5 所長及び係長は、上司の命を受けてセンター又は係の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

6 主任文化財主事及び文化財主事は、上司の命を受けて担当事務を処理する。

7 吏員その他の職員は、上司の命を受けて分担する

事務を処理する。

(職務権限の代行)

第4条 所長に事故がある場合又は所長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、係長がその係に属する事務について所長の職務権限を代理して行う。ただし、重要又は異例な事務については、文化財部長の指揮を受けなければならない。

2 前項の規定により所長の職務権限を代理して行う者がいないときは、文化財部長が行う。

(開館時間)

第5条 センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育長は、必要があると認める場合には、これを変更することができる。

(休館日)

第6条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育長は必要と認める場合には、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(1) 毎週月曜日

(2) 12月28日から翌年1月4日まで

(入館者の心得)

第7条 センターに入館する者は、次の各号に掲げる事項を守らねばならない。

(1) 所定の場所以外の場所で飲食し、喫煙し、又は

- 火気を使用しないこと。
(2) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
(3) 危険物又は動物を持ち込まないこと。
(4) 所定の場所以外に立ち入らないこと。
(5) 職員が行う管理上必要な指示又は指導に従うこと。
(貸出し)

- 第8条 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しを受けようとする者は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可申請書（様式第1号）を教育長に提出しなければならない。
2 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しの許可是、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可書（様式第2号）を交付して行う。

（寄贈等）

- 第9条 センターに資料を寄贈し、又は寄託しようとする者は、教育委員会に申し出なければならない。
2 寄託を受けた資料の貸出しへ、寄託者の承諾を得て行うものとする。

（委任）

- 第10条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和57年2月22日から施行する。

この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

保存処理設備機器の外部使用許可基準

1. 基本的使用許可基準

外部に対する保存処理設備機器の使用許可に際しては、下記要件を満たすものであることを原則とする。

- (1) 本市の保存処理業務に支障をきたすおそれがないこと。
(2) 文化財保護の観点から重要性があり、本市の文化財保護行政に寄与するものであること。
2. その他の許可基準
(1) 使用は、センター職員の指導・助言のもと、原則として外部担当職員が行うものとする。
(2) 使用に際して必要となる原材料・作業員等は使用者側（外部）の負担とする。
(3) 一括委託等請負的な処理は許可しないこととする。
(4) 民間業者等営利を目的とする団体からの依頼については許可しないこととする。
(5) 緊急性のある場合や特殊なもの除いて、通常の保存処理については受け付けないものとする。
(6) 使用に際しては、事前にセンター職員と協議のうえ申請書を提出し、許可を得ることを必要とする。
(7) 使用にあたってはセンター職員の指示に従うこと。また指示以外の行為により機器を破損した場合は、使用者側の責任において原状回復すること。

3. 対象機器一覧

本基準を適用する保存処理機器は、別紙一覧表の通りとする。

4. 許可基準の理由（略）

本基準は平成12（2000）年3月1日より施行する。

（別紙）＊主な保存処理機器の品名のみを列記

大型PEG含浸槽、一体型PEG含浸槽、真空凍結乾燥機、小型真空凍結乾燥機、有機遺物処理装置、減圧含浸装置、工業用電子天秤、偏光顕微鏡、実体顕微鏡、ビデオマイクロスコープ、赤外線カメラ、画像ファイリング装置、分析用電子天秤、赤外線分水計、大型滑走式ミクロトーム、蛍光X線分析装置、微小部蛍光X線分析装置、X線回折装置、走査電子顕微鏡、偏光赤外分光度計、透過X線撮影装置、分析用試料作成装置、マグネチックスター、ドロフトチャッパー、精密噴射加工機（エアブラシ）、精密グラインダー、送風定温乾燥機、大型送風定温乾燥機、真空乾燥機、卓上電気炉、純水製造装置、超音波洗浄機、真空ディシケーター、攪拌機、真空脱泡用デシケーター、シーラー、パキュームシーラー、ホットエアーガン

埋蔵文化財センターにおける有料複写サービス取り扱い要項

（目的）

第1 この要項は、教育委員会文化財部埋蔵文化財センターにおいて、埋蔵文化財センター図書室所蔵発掘調査報告書等行政資料のサービスを行う際の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

（複写サービスの申し込み）

第2 複写サービスの申し込みは、口頭で受けるものとする。

（複写手数料）

第3 複写サービスについては、福岡市手数料条例（昭和35年条例第11号）第2条第2項に基づき実費を徴収するものとし、その複写サービス料金は次の通りとする。なお、手数料については利用者が見

やすいところに掲示するものとする。

（1）用紙の規格は日本工業規格B1列5番からA1列3番までとし、1枚につき10円とする。

（複写手数料の納入等）

第4 行政資料複写の申し込みがあった場合は、申込者に対して複写手数料の金額を告知し、現金による納入を受けた後、金銭登録機で打出した領収票又は現金領収帳による領収書を交付するものとする。

付則

この要項は平成12年4月5日から施行する。

この要項は平成14年8月1日から施行する。

この要項は平成15年1月7日から施行する。

付2 平成22年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書・年報一覧

- 1105集 元岡・桑原遺跡群18～第20次調査の報告4・第36次調査の報告2・第38次調査・第45次調査の報告～
(調査番号0001・0341・0371・0535) 九州大学統合移転地内埋蔵文化財調査報告書
- 1106集 井尻B遺跡19～井尻B遺跡第34次調査報告～(調査番号0924)
- 1107集 板付11頃塚整備遺構認調査～環濠の調査～(調査番号54次8866・59次8990)
- 1108集 飯氏古墳群3・女原古墳群1～今宿古墳群関連認調査報告～
(調査番号 飯氏0856・女原0936)
- 1109集 今宿五郎江9～第13次調査の報告～(調査番号0718)
- 1110集 今宿五郎江10～今宿五郎江遺跡第10次調査報告(2)～
(調査番号0420)
- 1111集 大塚遺跡4～第14次・15次調査の報告～(調査番号0726・0769)
- 1112集 上月隈4～上月隈遺跡第4次調査報告～(調査番号0903)
- 1113集 五十川遺跡7～五十川遺跡第18次調査の報告～(調査番号0915)
市道御供所井尻線建設に伴う発掘調査報告書VII
- 1114集 収堤2～一般国道3号博多バイパス建設に伴う調査3～(調査番号0904)
- 1115集 雜割隈遺跡7～雑割隈遺跡第16次調査報告～(調査番号0445)
- 1116集 山王5～山王遺跡第6次調査報告～(調査番号0857)
- 1117集 千里～千里遺跡第1次・周船寺遺跡第19次調査報告～
(調査番号 千里0913・周船寺0919)
- 1118集 田村17～田村遺跡第25次調査報告書～(調査番号0914)
- 1119集 田村18～第26次調査の報告～(調査番号0918)
- 1120集 施田青木遺跡7～第7次調査報告～(調査番号0902)
- 1121集 那珂58(調査番号1006)
- 1122集 中村町遺跡3～中村町遺跡第4次調査報告～(調査番号0908)
- 1123集 名子遺跡1～第3次・第4次調査報告～(調査番号0758・0802)
- 1124集 博多141～博多遺跡群第185次調査報告～(調査番号0831)
- 1125集 博多142～博多遺跡群第188次調査報告～(調査番号0831)
- 1126集 博多143～博多遺跡群第190次調査報告～(調査番号0935)
- 1127集 箱崎42～箱崎遺跡第28次・第33次調査報告～
(調査番号0118・0236)
- 1128集 箱崎43～箱崎遺跡第64次調査報告～(調査番号0916)
- 1129集 原遺跡13～第25次調査報告～(調査番号0917)
- 1130集 比恵60～比恵遺跡群第89次・118次調査報告～
(調査番号0355・0861)
- 1131集 比恵61～比恵遺跡群第117次調査報告～(調査番号0853)
- 1132集 比恵62～比恵遺跡群第120次調査報告～(調査番号1004)
- 1133集 弥永原7～弥永原遺跡第7次調査の報告～(調査番号0225)

福岡市埋蔵文化財年報VOL. 24～平成21(2009)年度版～

博多遺跡群第189次 (0907)

カルメル修道院内遺跡第1・2次 (7307・7610)

福岡市埋蔵文化財センター年報 第30号

2012年3月17日

発行 福岡市教育委員会
福岡市博多区井相田2-1-94

印刷 石橋印刷株式会社
福岡市博多区東比恵3-21-10

FUKUOKA CITY ARCHAEOLOGY CENTER

Annual Report

No.30
2012



福岡市埋蔵文化財センター

所 在 地 福岡市博多区井相田2丁目1-94 (〒812-0881)

電 話 (092) 571-2921 Fax. (092) 571-2825

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休 館 日 毎週月曜日・年末年始（12月28日～1月4日）

入 館 料 無料（ただし団体見学の案内は事前に連絡が必要です）

交通手段 ■西鉄天神大牟田線 雜餉隈駅から徒歩15分

■JR鹿児島本線 南福岡駅から徒歩25分

■西鉄バス 博多駅交通センターから41番雑餉隈営業所行に乗車約30分

板付中学校前（埋蔵文化財センター前）下車すぐ

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/>